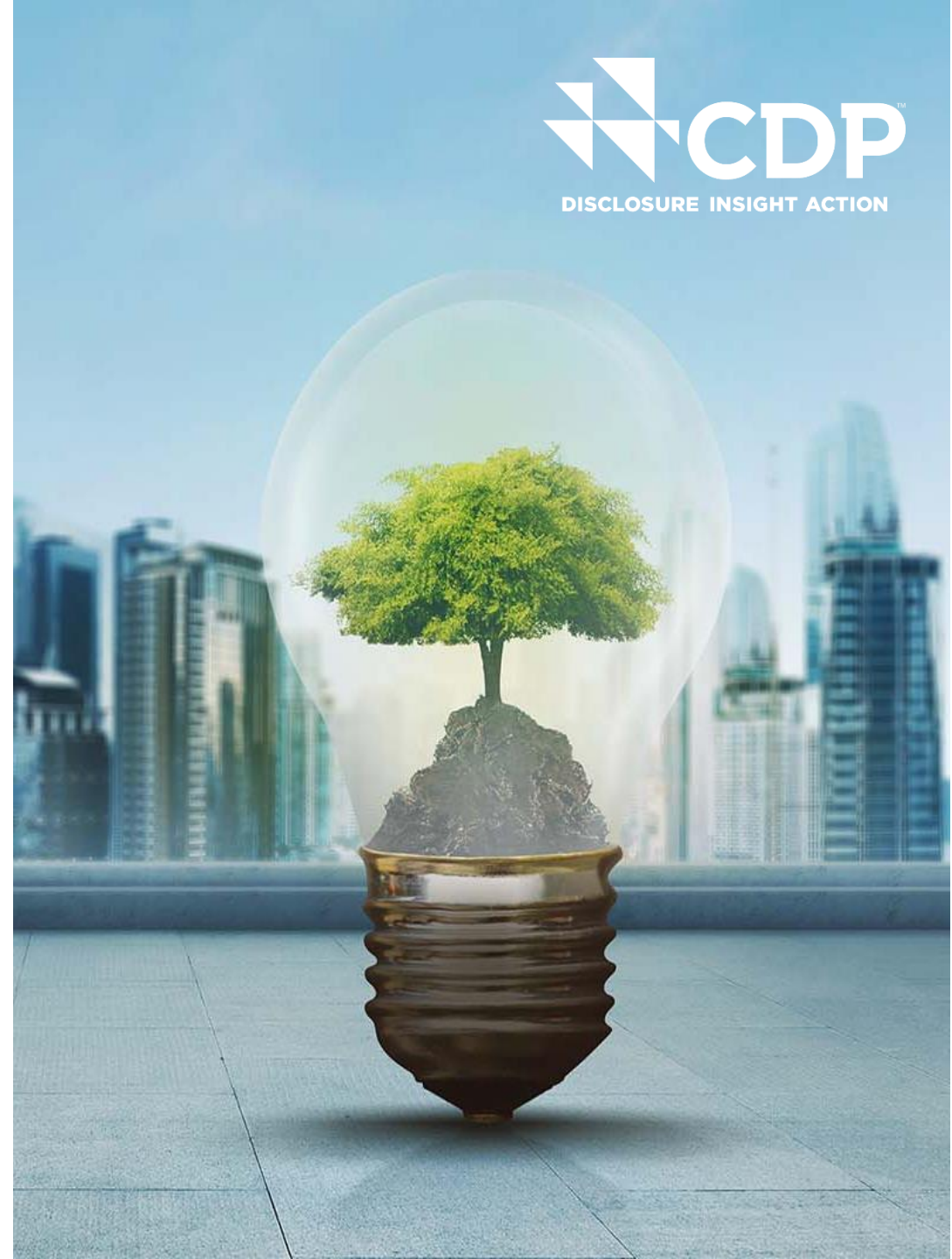


CDP水セキュリティ2023 詳細編ウェビナー Ver 2.0

2023年7月作成
CDP Worldwide-Japan

留意事項

- ▼ 本ウェビナーでは、全セクターの企業に関連する主要な変更点について取り上げています。軽微な変更点やセクター固有質問での評価基準の変更点については、こちらの資料をご確認ください。
- ▼ 質問書のガイダンス及びスコアリング基準は、最新のベストプラクティスの反映や、回答データの質の向上等を目的として、開示サイクルの途中で更新される場合がございます。最新の状況を反映しきれていない可能性もありますので、正しくはwww.cdp.netのオフィシャルガイダンスをご参照ください。



常に最新版のスコアリング基準等資料をご確認ください

英語版資料が最新となります。バージョン管理（Version Control）にて、いつ基準やガイダンスが更新されたかウェブ上で確認できます。



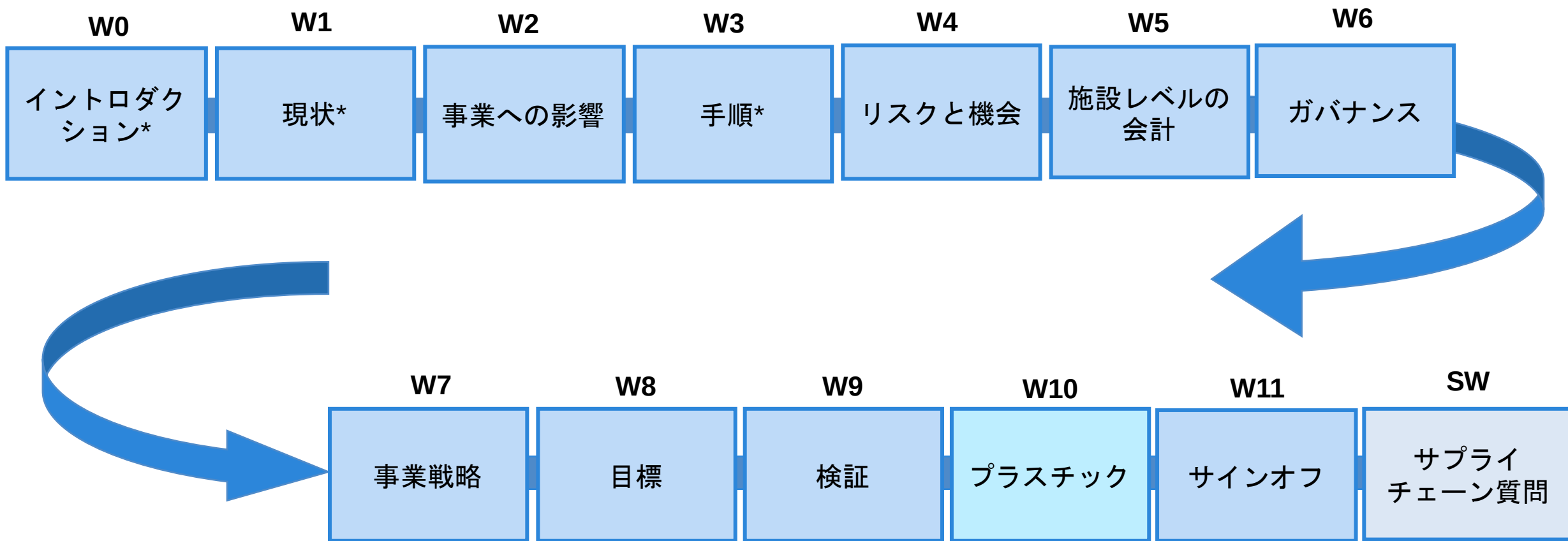
CDP Water Security Scoring Methodology 2023 - Version Control

Version number	Release/Revision Date	Revision Summary
1.0	14/03/2023	First version
1.1	21/03/2023	A list criteria corrected: A repeated criterion has been removed and significant exclusions criteria updated.
1.2	29/03/2023	Clarification of W1.2d Leadership eligibility criteria.
1.3	31/03/2023	Modification of Disclosure level scoring in question W8.1a.
1.4	31/03/2023	Modification of Awareness level scoring in Minimum version question W8.1a.
1.5	04/04/2023	Modification of the Leadership point allocation in question W-EU1.2a.
1.6	17/05/2023	Scoring route added to W1.2d Management and Leadership level.
1.6	1/06/2023	Scoring of W7.5 Management level clarified.
1.7	02/06/2023	Clarification that W-MM0.1a/W-CO0.1a Disclosure level is best row scored.
1.8	26/06/2023	Modification of the Management point allocation in question W-EU1.2a.

水セキュリティ質問書の構成

▼ 2023よりW10にプラスチックのモジュールを追加、W0～W11 (+SW質問)

▼ その他の構成は同じ、一部質問を全企業対象にするなどの変更有り



* 一部、セクター固有の内容もあります。

質問書の各モジュール概要

2023年 モジュール	主な内容
W0 イントロダクション	会社の概要、報告年、通貨、バウンダリ、除外対象
W1 現状	水の依存度、水の会計（水のモニタリングの割合、取水量・排水量・消費量、水ストレスの大きい水域での取水量、リサイクル・再生水の割合）、有害物質、バリューチェーンでの協働
W2 事業への影響	報告年における水による事業への影響、水規制違反により受けた罰則
W3 手順	水リスクの評価方法の手順・考慮される要素
W4 リスクと機会	水リスクのある施設数・内容等、水関連リスクと対応、水によりもたらされる機会
W5 施設レベルの水会計	施設レベルの水に関するデータ
W6 ガバナンス	水関連方針、マネジメントの責任、政策への関与と整合
W7 事業戦略	事業計画、設備投資費/操業費、シナリオ分析、ウォータープライシング
W8 目標	水関連目標と達成に向けた進捗
W9 検証	水情報に関する外部検証
W10 プラスチック	プラスチック製造、販売等の事業での関与について
W11 承認	回答承認者の情報

2023年の分野別質問セクター

前年までのセクターに加え、一部を追加

▼ 石油・ガス (OG)

▼ 電気事業者 (EU)

▼ 化学物質 (CH)



▼ 金属・鉱業 (MM)、石炭(CO)

▼ 食品・飲料・タバコ (FB)、農産品(AC)



石炭採掘と農産由来品生産企業について、セクターとして追加。
該当する企業では、セクター固有の各質問が追加されます。
(MMとCOで同種、FBとACで同種の質問となります)

2023年の変更範囲

▼ 質問書の73%は変更なし、または軽微な変更

▼ 質問の削除

- W1.4a (2022), W1.4d (2022) ⇒ バリューチェーンエンゲージメントを問う新質問に統合
- W8.1b (2022) : 企業の定性目標(goals) の説明

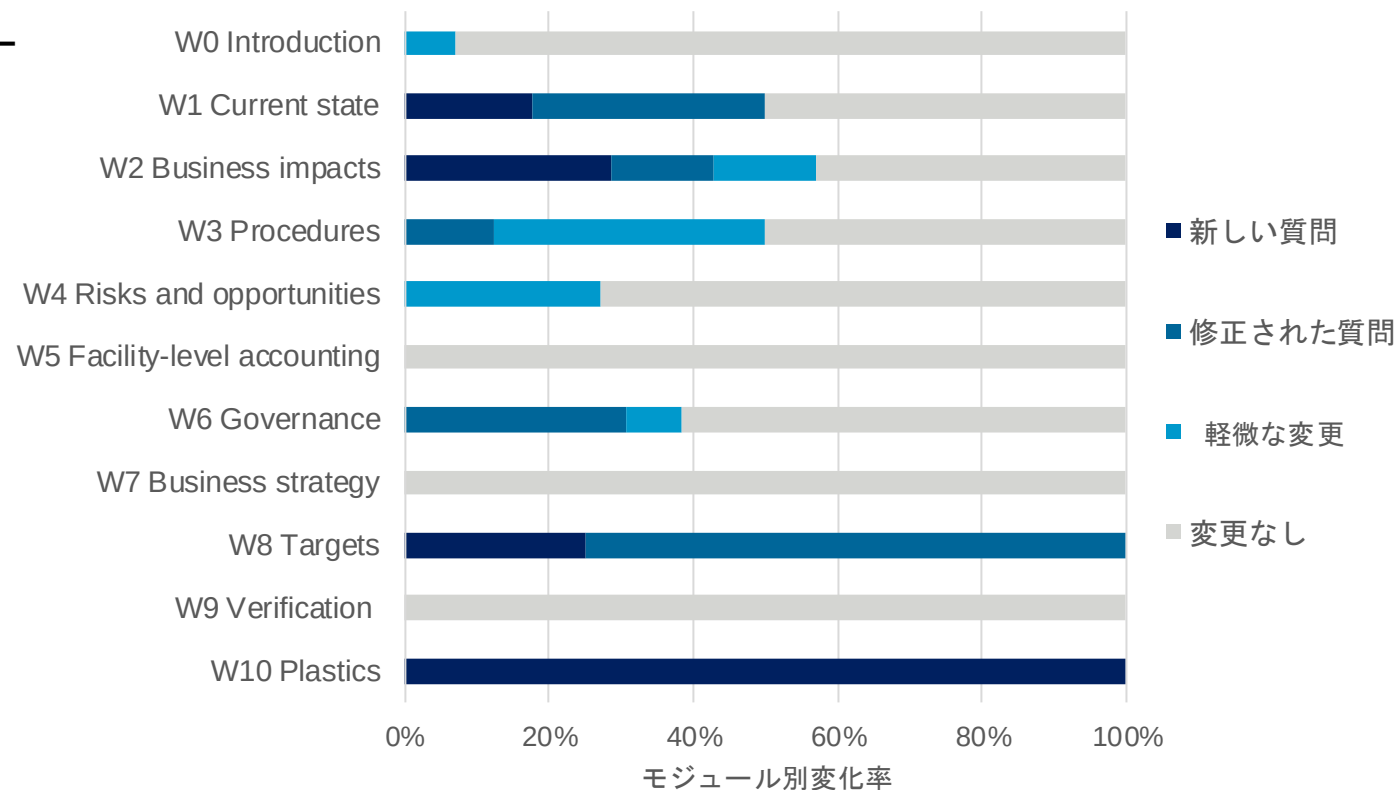
▼ 18の新しい質問

- 水セキュリティ 9つ、プラスチック 9つ

▼ セクター固有質問の変化

- CH、EU、FB、OG向けの固有質問 2つを修正、全回答企業に提示 (W3.1, W3.1a)
- MMセクターの質問をCOセクターにも提示
- FBセクターの質問をACセクターにも提示

モジュール別の変更点



2023年の総出題数：85問
(セクター固有質問とサプライチェーンモジュールを除く)

スコアリングの概要

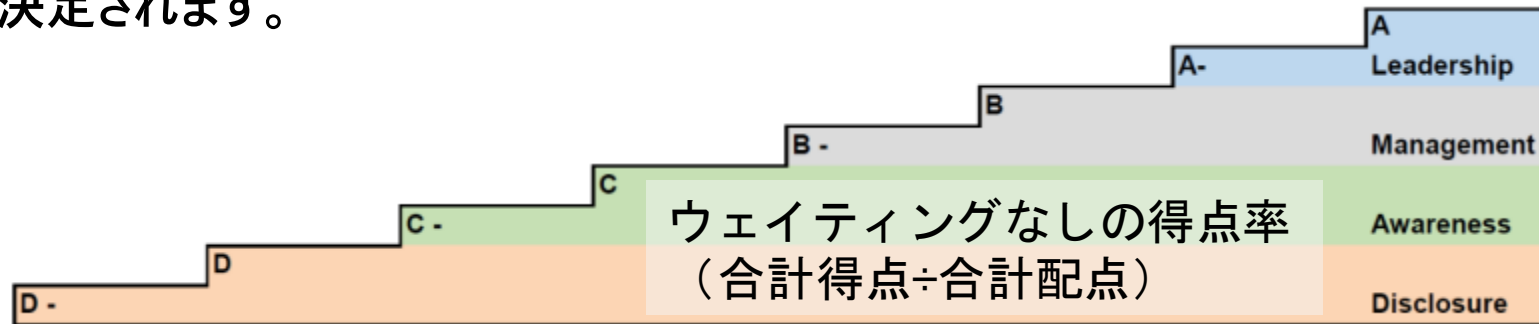
※詳細は[スコアリングイントロダクション資料](#)をご覧ください

- ◆ まず、情報開示と認識レベルにおいて、得点率（合計得点÷合計配点）の算出がされます。
 - 全体の認識レベルの得点率が一定の閾値に満たなかった場合、マネジメントレベル以上の採点はされず、その企業の評価(band)は最高でも“C”となります。
- ◆ “B-”以上の評価になる場合、マネジメントレベルとリーダーシップレベルでは、各カテゴリーにてウェイトリング(重要度を勘案した重みづけ)を考慮したスコアリングが行われます。
 - 質問カテゴリーごとの合計獲得点(分子)/合計配点(分母)に基づき、そのカテゴリーでの得点率を出して、これにウェイトの％値をかけることで、各カテゴリーの得点が算出されます。

例：あるカテゴリーの得点9／配点12＝0.75、そのカテゴリーのウェイトが11％だった場合、

$0.75 \times 11 = 8.25$ 点（全体を100点満点としての獲得点数）となります。

- その様に算出した点数を足し合わせて両レベルの最終得点(得点率)が決まり、最終スコアと評価(band)が決定されます。



カテゴリーごとウェイトリングありで採点された得点に基づき、各レベルの最終スコアを決定

2023年 水セキュリティ ウェイティング (一般セクター)



カテゴリー	マネジメント	リーダーシップ	主な対象質問等
100%情報開示	0%	2%	各採点対象質問への回答入力
水会計	13%	13%	W1.2, 1.4
バリューチェーン・エンゲージメント	10→11%	10→12%	W1.5
事業への影響	3%	3%	W2
水リスク評価	12%	11%	W3
水関連リスクの顕在化と対応	10→11%	10→12%	W4.1, 4.2
水関連機会	4%	4%	W4.3
水の方針	8→7%	9→6%	W6.1, 6.5
ガバナンス	15→10%	15→9%	W6.2, 6.3, 6.4
事業戦略	7%	7%	W7
水質汚染の管理手順	3→7%	3→7%	W3.1
目標	13%	13%	W8
検証	2%	0%	W5.1, W9

▼ 個別産業セクターに属す企業は、異なる設定となります ▼ 矢印のあるものは、2022年→23年の変更があることを示します

2023 スコアリングアプローチの変更点



質問レベルでの採点基準の変更：各レベルの期待に対する対応を反映させるため、またはテーマ間の整合性を図るため。例：ガバナンスのカテゴリー



質問の追加、修正：水会計、目標やバリューチェーン・エンゲージメントのカテゴリーなどの評価基準を新質問に合わせて修正



報告の一貫性を高め、データの質を向上させるために、評価における質問間のクロスチェックを導入。例：W1.2j、W1.3、W6.3、W8.1a



1行目の回答の採点から、最良の行(回答)の採点に変更
例：W1.5d (2022 W1.4b), W1.5e, (2022 W1.4c), W6.2a, W6.3.



Aリスト要件として、企業が満たすべき追加の基準を設定

2023 水セキュリティAリスト要件

全テーマ共通の条件＋水セキュリティ固有条件があります



- ▶ リーダーシップ基準の閾値以上の得点を獲得し、回答を公開する
(※ 本年からは、全テーマ共通で回答公開の無い場合の最高スコアは“B”になります)
- ▶ 重大な除外を行っていない(W0.6a)
- ▶ 質問W1.2において、貴社のサイト/施設/事業所の75%以上が、以下の側面について定期的に監視されていることを示すことにより、包括的な水会計を実証する：
「取水量 - 総量」 & 「排水量 - 総量」 & 「排水水質-標準放流水パラメータ別」 &
「すべての労働者に、十分に機能し、安全に管理されたWASH*サービスを提供する」
- ▶ 水ストレスのある地域からの取水量が前年度と比較して少ないか安定していることを報告する(水ストレスのある地域からの取水量を持つ回答者のみに適用) (W1.2d)
- ▶ 水に関する問題についてサプライチェーンとの協働を示す (W1.5)

他の各テーマ共通要件については、詳細は[スコアリングイントロダクション](#)の資料をご覧ください。また、水セキュリティスコアリング基準冒頭の「Leadership and A-list criteria」の項目もご確認ください。

質問書全体に関する事項

定義を回答する質問について



共通の定義を回答する質問では、その回答内容は当該質問のみでなく、**質問書全体に適用される**ものです。

- ▼ W0.2では1年間の「報告年」について定めてください。明示的に報告年以外の情報を求める内容の質問を除き、後続の質問では、ここで定義する報告年を対象に回答してください。
 - ▼ 取組の事例等を記載する際、**報告年に関連するもの**であれば、報告年以前の取組も記載可。一方で、継続しておらず止めた取組や、既に定常化した過去の事例など、報告年に関連しているとは判断しがたい取組については、記載するのに適切でない。
- ▼ W0.5では「報告バウンダリ」を回答ください。これにより、質問書において自社(・グループ)の回答として含める範囲が定義されます。**バウンダリ内の子会社のデータ(取水量等)**について、その子会社が個別にCDP質問書への回答をする場合でも、**親会社は子会社のデータを含めて**回答しなければなりません。
 - ▼ 一例：W1.2bで回答する取水/排水/水消費の総量について、**W0.5**で回答した自社の報告バウンダリ内施設/業務をすべて含んだ、**W0.2**で回答した報告年の期間における事業活動による活動量が報告対象。

定義を回答する質問について

共通の定義を回答する質問では、その回答内容は当該質問のみでなく、**質問書全体に適用される**ものです。

- ▼ W0.4では財務的な情報を回答する際に共通して使用する通貨について回答し、財務情報が関連するすべての質問に適用させてください。
- ▼ W4.1aでは水関連の影響の文脈で「財務または戦略上の重大な影響」について定義します。自社として何を以って重大な影響と判断しているのかを閾値や論理を明確にしつつ、回答してください。
 - ▼ 一例：W4.2/4.2aで回答する財務または戦略上で潜在的に重大な影響のある水リスクについて、
1) **W4.1a**で回答した定義に従って重大な影響があると判断されたリスクが対象であり、2) そのリスクに起因する潜在的な財務影響額については**W0.4**で指定した通貨を単位として回答すること。

年(年度)について、組織構造に変化があった場合

年(年度)については、対象期間の**最終日が属する年**を指すことを質問書全体において基本的に想定しています。

▼ W8.1bなど、水関連目標の年や設定年を記入する欄では、当該年度の終了年を入力（例：日本で言う2030年度内：2030年4月1日～2031年3月31日の期間を指す場合、“2031”と入力）
買収/売却/合併等を通じて組織構造に変化があった場合、組織の水の動向に変化が生じることがありますが、報告年中に取得した組織関連の情報については、把握できる限りの正しい情報を記入するようにし、方向性が定かでなく反映できない場合などはその旨をご説明下さい。W0.6aの回答にて、報告年内の合併等による追加となった組織・施設については次の報告年にて報告すると説明し、本報告年では除外することも可能です。

異なる質問間の回答の整合性について

一貫性や矛盾の無いことの確認のため、異なる**質問間の回答の整合性**を確認する評価要件がありますので、説明に相違のないようにご注意ください。（以下に主なものを記載）

質問1		質問2		備考
対象質問	対象	対象質問	対象欄	
W1.2b：貴社の事業全体で、取水、排水、消費した水の合計量、前報告年比、また今後予測される変化についてご記載ください。	総取水量における[量(メガリットル/年)]	W1.2h：水源別の総取水量をお答えください。	[量(メガリットル/年)] (各欄合計値)	総量が自社全体の取水量になる形で回答する必要がある。誤差や集計方法による差異を考慮し±5%までの違いは認められる。
		W1.3：貴社の総取水効率の数値を記入してください。	[総取水量(メガリットル)]	
W4.1c：河川流域別に、貴社の事業に重大な財務上または戦略上の影響を及ぼす可能性のある水関連のリスクにさらされている施設の数と割合はいくらですか…	[水リスクのある施設の数] (回答した数値の合計)	W5.1：W4.1cで挙げた各施設について、地理座標、水会計データ、前報告年との比較内容をお答えください。	回答数 (施設数)	W5.1では個別の施設を回答し、その回答の数をW4.1cの回答数と照合する。 W5.1では複数施設をまとめて回答しないこと。

モジュール0： イントロダクション

W0 イン트로ダクション(導入)

▼ W0.6以外は評価対象外



2023年版モジュール

W0 導入

W1 現状

W2 事業への影響

W3 手順

W4 リスクと機会

W5 施設レベルの水会計

W6 ガバナンス

W7 事業戦略

W8 目標

W9 検証

W10 プラスチック

W11 最終承認

SW サプライチェーン

(W0.1) 貴社の概要および紹介文を記入してください。

(W0.2) データの報告年の開始日と終了日を入力してください。

◆ 回答する過去1年間の期間を指定

(W0.3) 貴社が操業する国/地域を選択してください。

(W0.4) 回答全体を通じて財務情報の開示に使用する通貨を選択してください。

(W0.5) 報告対象となる企業、事業体、グループの報告バウンダリ(境界)として最も当てはまるものを選択してください。

- ・ 財務支配力(financial control)を有している会社(、事業体またはグループ)
- ・ 経営支配力(operational control)を有している会社(、事業体またはグループ)
- ・ 株式を保有している会社(、事業体またはグループ)、 ・ その他

(W0.6) 上記報告範囲の中で、本情報開示から除外される地域、施設、水に関する側面、その他の事項はありますか。

(W0.7) ISINコードまたはその他の識別子(Ticker、CUSIPなど)を持っていますか。

◆ 世界で使われるコード番号等による固有の自社の識別子があれば回答

除外対象・事項の報告

W0.6/0.6a

報告範囲の中で、本情報開示から除外される地域、施設、水に関する側面、その他の事項はありますか。

回答選択肢

以下の選択肢のうちから1つを選択します:

- はい
- いいえ

(除外あり) リーダーシップ
評価対象外

(除外なし) リーダーシップ 評価あり

W0.6aにて詳細を回答

- ▼ 自社全体（財務支配/経営支配の場合、親会社を頂点とする連結子会社が原則全て含まれる）の包括的な報告が原則。
- ▼ 本来集計や報告に入るべきだが、入れることができない範囲、またはデータ収集が困難なために報告に入れない要素がある場合に、除外として報告する。
- ▼ 回答の利用者のニーズに対応すべく適切な範囲を含めること。含めないものがある場合は、W0.6aにて詳細を報告。

重要な除外項目

(W0.6a 除外されるものについて説明してください)

除外の回答における対象および情報提供：

- **地理的位置**：ある国/地域の操業では水利用が少ない、またはデータが不十分である等の理由
- **活動**：ある生産ライン、事業プロセス、またサプライヤーのタイプが、データが不十分または報告が不可能であるために除外する場合
- **施設**：最近の合併、買収、および売却(報告年中に行われた)、事業活動の外注および内製化。また、水使用量を追跡することができない小規模施設
- **水取り込みや排出**：一部施設で雨水を利用している企業は水源の質や量を追跡していない可能性があり、この場合の水源は除外対象と見なされうる
- **グループ、会社、事業、組織**：バウンダリ（境界）内にあるが開示には含まれていない場合

• すべての除外について、開示に含めない理由を明確に説明してください。
この除外の根拠について合理的な説明を行ってください。

• 「重要な除外」とならないものの例：

上下水道・衛生(WASH)サービスで使用する水や、採取した雨水

- 除外項目の根拠と、除外項目の定量的な評価が求められます
- 重要な除外項目がない場合も、具体的な情報を含めて回答してください
- 報告年に行った買収・合併については、翌年には含める予定として説明していれば、Aリスト要件を満たします

回答例

除外対象：
オフィス

説明：

生産機能が無く、水の使用量が僅少な小規模なオフィス（従業員50人未満）。大半が賃貸ビルで、ビルオーナーによって管理されています。



モジュール1：現状

W1 現状

W1.1からW1.2kまでの質問の流れ

W1.1

(現在および将来の) 貴社事業の成功における、水質と水量の重要度をお答えください。

W1.2

水に関する以下の側面について、貴社事業全体でどの程度の割合を定期的に測定・モニタリングしていますか。

W1.2b

貴社事業全体で、取水、排水、消費された水それぞれの総量をお答えください。それらの量は前報告年と比較してどうでしたか。

W1.2d

水ストレスのある地域から取水を行っていますか。また、その割合、前報告年比、今後予測される変化はどのようなものですか。

W1.2で「取水」のモニタリングを水源別に行っていると回答した場合

W1.2h

水源別の総取水量をお答えください。

W1.2で「排水」のモニタリングを放流先別に行っていると回答した場合

W1.2i

放流先別の総排水量をお答えください。

W1.2で「水域への排水量-処理方法別」をモニタリングしていると回答した場合

W1.2j

貴社の直接操業内で、貴社が排水を処理する最高レベルを示してください。

W1.2で「水域への排水の質-硝酸塩、リン酸塩、殺虫剤、他の優先物質」をモニタリングしていると回答した場合

W1.2k

報告年における硝酸塩、リン酸塩、殺虫剤、およびその他の優先有害物質の水域への貴社の排出量について具体的にお答えください。

▼ W1.2dまでの各質問は、全企業が回答

▼ W1.2の回答により、W1.2h~1.2kの質問ルートに進み、それぞれを回答

W1 – 現状

水の会計、原単位、バリューチェーン関係の質問について

- ▼ このモジュールの各質問の表示は、水の重要性についてのW1.1での選択に依らないものとなりました。
- ▼ 開示企業に対して、全社的な水会計、水の原単位、有害物質、バリューチェーンへの関与に関する情報の提供を要請します。これらの活動はすべての開示企業に関連するものです。

	W1.2 水の会計	W1.3 水の原単位	W1.5 バリューチェーンとの連携
改訂された 質問従属性 (太字は 要回答)	▼ W1.2 - 水側面の測定とモニタリング ▼ W1.2b - 水の総取水量、排水量、および消費量 ▼ W1.2d-水ストレスのある地域からの取水量 ▼ W1.2 内のセクター固有の質問 (EU、OG、FB/AC)	▼ 水使用の原単位に関するセクター別のセクション： W1.3 (CH, EU, FB/AC, OG, MM/CO)	▼ W1.5 (2022 W1.4) バリューチェーン・エンゲージメント
その他、変更の影響を受ける質問	▼ W1.2h - 水別別取水量 ▼ W1.2i - 排水先別排水量 ▼ W1.2j - 処理レベル別排水量 ▼ W1.2 内のセクター固有の質問 (EU、OG、FB/AC)	▼ 水使用の原単位に関するセクター別のセクション： W1.3 (CH, EU, FB/AC, OG, MM/CO)	▼ W1.5d (2022 W1.4b) サプライヤー・エンゲージメント ▼ W1.5e (2022 W1.4c) 他のバリューチェーンパートナーとの関わり合い

W1.1 水の重要度



2023年版モジュール
W0 導入
W1 現状
W2 事業への影響
W3 手順
W4 リスクと機会
W5 施設レベルの水会計
W6 ガバナンス
W7 事業戦略
W8 目標
W9 検証
W10 プラスチック
W11 最終承認
SW サプライチェーン

(W1.1) 貴社事業の成功には、水質と水量はどの程度重要ですか。
(現在および将来の)重要度をお答えください。

水質と水量	直接利用の重要度評価	間接利用の重要度評価	説明してください
良質な淡水を十分に利用できること	選択肢: - 全く重要ではない - あまり重要でない - 中立 - 重要 - 不可欠 - 評価していない	選択肢: - 全く重要ではない - あまり重要でない - 中立 - 重要 - 不可欠 - 評価していない	文章入力欄 [最大2,000文字]
リサイクル水、汽水、随伴水を十分に利用できること			

淡水の品質は問わない利用について、こちらに回答

- ・ リサイクル水＝一度使用した水を再生したもの、海水を淡水化したもの
- ・ 汽水＝低塩分の海水・淡水の混合水
- ・ 随伴水＝原油等採掘に合わせて吸い上げられる地下水

質問構造の変更により、
2023年はマネジメント、リーダーシップ基準では評価されません

全社的な水会計

(W1.2) 水に関する以下の側面について、貴社の事業全体でどの程度の割合を定期的に測定・モニタリングしていますか。



水に関する側面	操業地/施設/事業の比率(%)	測定頻度*	測定方法*	説明してください
取水－総取水量 取水－水源別取水量 取水の質 排水－総排水量 排水－放流先別排水量 排水－処理方法別排水量 排水の質－標準的排水基準別 排水の質－硝酸塩、リン酸塩、殺虫剤、その他優先有害物質の排出 排水の質－温度 水消費－総消費量 リサイクル水/再利用水 全従業員に適正に機能し安全に管理された水・衛生サービス提供(WASH)	選択肢: •モニタリングなし •1%未満 •1-25 •26-50 •51-75 •76-99 •100% •関連性がない (施設などの数の割合で回答)	選択肢: •常時 •毎日 •毎月 •四半期に1回 •毎年 •不明 •その他、具体的にお答えください	文章入力欄	文章記入欄

新規列

- 上記、**太字**については認識レベルで26%以上の把握が求められる
- マネジメントレベルでは、各側面で76%以上の把握が期待される（:2列目”関連性がない“以外のもの）
- “関連性がない”と回答した側面は、理由と将来の状況想定について、[説明してください]にて説明

全社的な水会計



(W1.2b)貴社の事業全体で、取水、排水、消費した水の合計量、前報告年比、また今後予測される変化についてご記載ください。

- 総取水量、総排水量、総消費量について、量(メガリットル)を回答した上で、下記にて選択、記述回答
- 新規列については、従来記述で求めていた内容を選択で回答できるように簡略化

前報告年との比較	前報告年との変化/無変化の主な理由	5年間の予測	将来予測の主な根拠	説明してください
選択肢: - 大幅に少ない - 少ない - ほぼ同じ - 多い - 大幅に多い - 初めての測定（前報告年なし）	選択肢: - 会計方法の変更 - 水を大量に利用する技術・プロセスからの撤退 - 施設の閉鎖 - 施設の拡大 - 事業活動の拡大/縮小 - 効率性の向上/低下 - 効率的な水利用ができる技術/プロセスへの投資 - 水使用量の最大削減可能性を既に達成済み - 合併買収(M&A) - 不明 - その他、具体的にお答えください	選択肢: - 大幅に少ない - 少ない - ほぼ同じ - 多い - 大幅に多い - 不明	選択肢: - 会計方法の変更 - 水を大量に利用する技術・プロセスからの撤退 - 施設の閉鎖 - 施設の拡大 - 事業活動の拡大/縮小 - 効率性の向上/低下 - 効率的な水利用ができる技術/プロセスへの投資 - 水使用量の最大削減可能性を既に達成済み - 合併買収(M&A) - 不明 - その他、具体的にお答えください	文章入力欄[最大2,000文字]

26

新規列

※ こちらは、表の一部の抜粋です

全社的な水会計

(W1.2b)貴社の事業全体で、取水、排水、消費した水の合計量、前報告年比、また今後予測される変化についてご記載ください。



主な回答評価の判断基準について

マネジメントレベル

- ▼ 総取水量：前年比でほぼ同じ、もしくは減少。W1.2hで報告された量と整合していること
- ▼ 総排水量：W1.2iで報告された量と整合していること
- ▼ 総消費量：前年比でほぼ同じ、もしくは減少。
(全体：[5年間の予測]欄と[予測の主な理由]欄の両方で“不明”を除くいずれかの選択肢を選択)

リーダーシップレベル

- ▼ 総消費量 = 総取水量 - 総排水量 であるか、計算上の数値が合わない場合は、その理由・状況について、各回答欄いずれかの [説明してください] 欄にて確かな説明がされていること

(W1.2d)水ストレスのある地域から取水を行っていますか。また、その割合、前報告年比、今後予測される変化はどのようなものですか。

▼“取水は水ストレス下にある地域からのものですか”（最初の列）に対して「はい」の回答の場合、詳細を回答する形。新規列については、従来記述で求めていた内容を選択で回答できるように簡略化

水ストレスのある地域からの取水の割合*	前報告年比*	前報告年と比べての変化/無変化の主な理由*	5年後の見通し*	予測の主な理由*
選択肢: 1%未満 1-10 11~25 26~50 51~75 76~99 100% - 不明 水ストレス地域の取水量/全体取水量を計算し、その割合が前年と比べてどうだったかを[前報告年比]に選択式で回答	選択肢: - 大幅に少ない - 少ない - ほぼ同じ - 多い - 大幅に多い - 初めての測定（前報告年なし）	選択肢: - 会計方法の変更 - 水を大量に利用する技術・プロセスからの撤退 - 施設の閉鎖 - 施設の拡大 - 事業活動の拡大/縮小 - 効率性の向上/低下 - 効率的な水利用ができる技術/プロセスへの投資 - 水使用量の最大削減可能性を既に達成済み - 合併買収(M&A) - 不明 - その他、具体的にお答えください	選択肢: - 大幅に少ない - 少ない - ほぼ同じ - 多い - 大幅に多い - 不明 ※こちらは、表の一部の抜粋です。	選択肢: - 会計方法の変更 - 水を大量に利用する技術・プロセスからの撤退 - 施設の閉鎖 - 施設の拡大 - 事業活動の拡大/縮小 - 効率性の向上/低下 - 効率的な水利用ができる技術/プロセスへの投資 - 水使用量の最大削減可能性を既に達成済み - 合併買収(M&A) - 不明 - その他、具体的にお答えください
		新規列		

(W1.2d)水ストレスのある地域から取水を行っていますか。また、その割合、前報告年比、今後予測される変化はどのようなものですか。

- ▼ “特定に利用したツール” に対して WRIAQUEDUCT と WWF Water Risk Filter の選択時は、詳細説明は必須ではなくなりました。（：マネジメント評価基準）
- ▼ “説明してください” 欄は、その他のツールとその使用時の説明や、全般的な状況説明を行ってください。

※ 左記は、表の一部の抜粋です。

特定に使用したツール*	説明してください
該当するものをすべて選択: - 世界資源研究所(WRI)が発表したアキダクト（AQUEDUCT（水管、送水路）） - 世界自然保護基金（WWF）水リスクフィルター（Water Risk Filter） - その他、具体的にお答えください	文章入力欄[最大5,000文字] 選択したツールをどのように使用し水ストレスのある地域からの取水の有無を評価したか、水ストレスの定義、等の記載※

「水ストレスがある」：人や生態系の淡水需要が満たされていない状況。水は豊富だが汚染が深刻な場合や、一般の人々が簡便に利用できる状況にない、などの状態も含む、包括的で広範な概念。
（⇔「水不足」：淡水資源の量的な不足により、人の利用に対して充足していない状況を表す。）

- <世界的な水ストレスの評価指標>
- 水ストレス 高以上：40 ～ 80% (WRIAQUEDUCT)
 - 水資源枯渇 高以上：50 ～ 75% (WRIAQUEDUCT)
 - 水不足 - WWF Water Risk Filter のリスクスコア 3以上

※ [前報告年比] 欄(前ページ)について、全体取水量の変化により水ストレス地域の利用割合が変化し、絶対的な量ではその動向と違う状況である場合には、こちらにて詳細な状況説明が必要になります。

(W1.2d)水ストレスのある地域から取水を行っていますか。また、その割合、前報告年比、今後予測される変化はどのようなものですか。

水ストレスのある地域からの取水割合の「前報告年度との比較」が、前報告年度と比較した水ストレスのある地域からの取水量の正味変化と異なる場合

- ▼このような場合、会社は「説明してください」(8欄)に、現在の報告年度と以前の報告年度の量的比較を記載する必要があります。これは例えば、全社の総取水量が前報告年度と比較して「はるかに多い」にもかかわらず、水ストレスのある地域からの絶対的な取水量が同程度かそれ以上である場合などに該当します。この例では、水ストレスのある地域からの絶対的な取水量は減少していませんが、「前年度との比較」欄の回答は「減少」となります。
- ▼“説明してください”欄は、その他のツールとその使用時の説明や、全般的な状況説明を行ってください。

全社的な水会計



(W1.2h) 水源別の総取水量をお答えください。

▼ 報告年の取水量や動向など、取水源別に区別して報告

- ・ 淡水の地表水
- ・ 汽水の地表水/海水
- ・ 地下水（再生可能）
- ・ 地下水（非再生可能） ...化石水とも呼ばれる
- ・ 随伴水/混入水 ...原油・金属採掘等のみ関係
- ・ 第三者の水源

(W1.2i) 放流先別の総排水量をお答えください。

▼ 報告年の排水量や動向など、放流(排水)先別に区別して報告

- ・ 淡水の地表水
- ・ 汽水の地表水/海水
- ・ 地下水
- ・ 第三者の放流先

回答のポイント（マネジメント基準より）

<”事業への関連性”欄で[関連する]が選択されている場合>：
“前報告年比”欄で、
[今回が測定初年度です]以外を選択し、かつ
[前報告年比の変化/無変化の主な理由]欄で、
[不明]以外の選択

<同、[関連しない]が選択されている場合>
“説明してください”欄にて、この特定の水源からの取水/排水が重要ではない理由について説明

W1.2h/i 回答項目：	W1.2h/i				
	水源/ 放流先	事業への関連性	量 (メガリットル/年)	前報告年比	前報告年と比べて の変化,無変化の主 な理由
					説明してく ださい

W1.2j - 処理のレベル別排出量

(W1.2j)貴社の直接操業内で、貴社が排水を処理する最高レベルを示してください。

この設問は、W1.2「放流先別の総放流量データを提供してください」の中で、「放流水 - 処理方法別の放流量」をモニタリングしていることを示している場合にのみ表示されます。

排水処理に関する用語の説明（仮訳、ガイダンス記載）

一次処理は、通常、沈降によって懸濁物質や浮遊物質を物理的に除去するものを指します。予備処理では、通常、スクリーンや沈砂地を用いて、大きなゴミ、大きな粒子、オイル、グリースを物理的に除去することが行われます。

二次処理は、生物学的処理による有機物の分解と固形物の減少が行われる処理のことを指します。このレベルの処理では、化学的処理と生物学的処理を組み合わせ、栄養素（窒素および／またはリン）の除去を行うことができます。二次処理は一次処理の後に行われます。

三次処理では、粒状媒体ろ過、生物学的硝化脱窒、生物学的リン除去、塩素処理など、さまざまな処理によって二次処理後に残る懸濁成分、コロイド成分、溶存成分（栄養素、重金属、無機質、その他の汚染物質）を除去するために必要な高度処理を追加します。二次処理に続いて三次処理が行われます。

Explanation of terms

- **Primary treatment:** Primary treatment involves the physical removal of suspended solids and floating material, typically by sedimentation. A preliminary treatment may often be applied involving the physical removal of large debris, large particles, oils, and grease, typically through screens and grit chambers.
- **Secondary treatment:** Secondary treatment involves the degradation of organic matter and reduction of solids through biological treatment. The removal of nutrients (nitrogen and/or phosphorus) can also be achieved at this level of treatment using a combination of chemical and biological treatments. Secondary treatment follows primary treatment.
- **Tertiary treatment:** Tertiary treatment involves the additional treatment needed to remove suspended, colloidal and dissolved constituents (nutrients, heavy metals, inorganic and other contaminants) remaining after secondary treatment through a number of processes including granular media filtration, biological nitrification-denitrification, biological phosphorus removal, chlorination, etc. Tertiary treatment follows secondary treatment.

W1.2j - 処理のレベル別排出量

(W1.2j)貴社の直接操業内で、貴社が排水を処理する最高レベルを示してください。



回答例

直接操業内での処理の最高レベル	排水する処理レベルの事業への関連性	量 (メガリットル/年)*	処理済み量の前報告年比*	前報告年比の主な理由*	この量が適用される操業地/施設/事業の割合(%)*
三次処理 (高度処理)	関連する	29500.0	高い	三次処理の利用率が上がったため	100%
二次処理	関連する	11151.0	ほぼ同じ	事業活動の増加と二次利用の減少が相殺されほぼ同量となった	100%
一次処理のみ	関連する	32175.0	低い	施設の閉鎖	11-20
未処理のまま自然環境に排水	関連しない	非該当	非該当	非該当	非該当
未処理のまま第三者に排水	関連する	25277.0	低い	当該工場での事業活動の減少	71-80
その他	関連する	5286.0	ほぼ同じ	その他、具体的に説明ください: 総降水量のわずかな増加	1%未満

3 列目の「量 (メガリットル/年)」の合計は、全社的な排水量の合計 (W1.2b 排水量) と一致するものと想定されます

処理レベルは排水処理の最高レベルでの量をそれぞれご記載ください。

有害物質の排出

(W1.2k) 報告年における貴社の硝酸塩、リン酸塩、農薬およびその他の優先有害物質の水域への排出の詳細を記載してください。

新しい質問

- ▼ 持続可能な金融情報開示規則（SFDR）にて要求される指標に沿った質問
- ▼ この質問により、企業は重大物質の水への排出量を示すことができ、“EU水枠組み指令”に記載されている硝酸塩、リン酸塩、農薬などの重大物質の理解、管理、使用量削減に役立ちます。
- ▼ **EU水枠組み指令**(EU Water Framework Directive)の**優先有害物質**(Priority hazardous substance)
：ダイオキシン、水銀、窒素/リン酸由来の化学物質、農薬や防虫剤などの化学物質。
指令文書・リスト：<https://eur-lex.europa.eu/LexUriServ/LexUriServ.do?uri=OJ:L:2013:226:0001:0017:en:PDF>
- ▼ 各欄に答えていることを評価する認識レベルまでの採点となります。

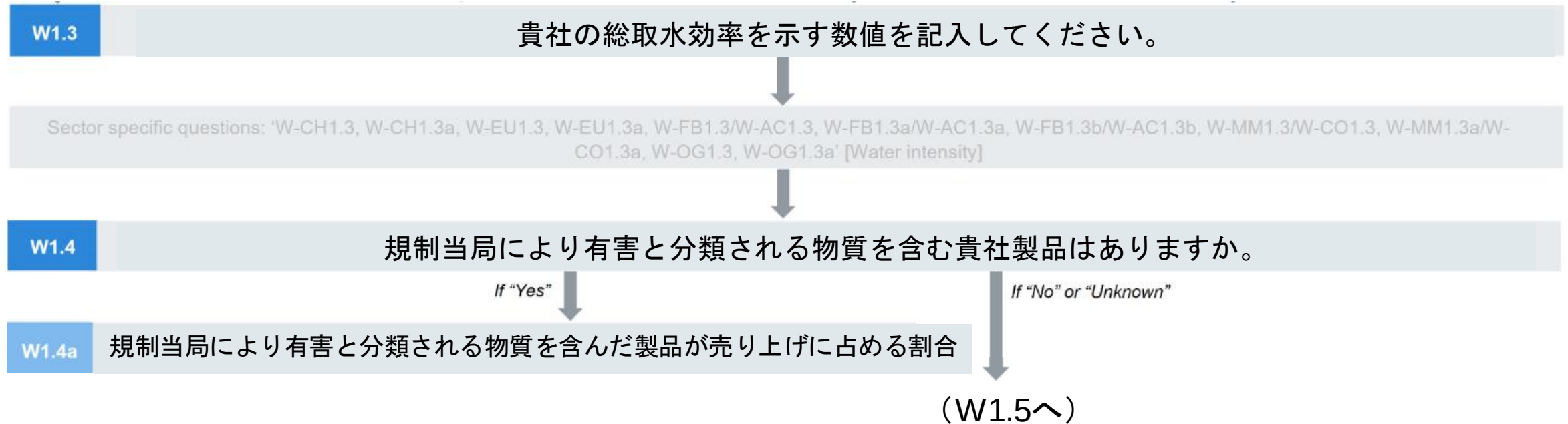
報告年における水域への排出量(トン)	含まれる物質の種類	含まれる個別の物質を列挙ください	説明してください
数値記入欄[最大小数点第2位を用いて、0～999,999,999,999の数字を入力]	該当するものをすべて選択: ● 硝酸塩 ● リン酸塩 ● 殺虫剤 ● EU水枠組み指令で特定される優先有害物質	文章記入欄[最大1,000文字]	文章入力欄[最大1,500文字]

EU水枠組み指令の優先取組物質のリスト（X印が該当）

Number	CAS number ⁽¹⁾	EU number ⁽²⁾	Name of priority substance ⁽³⁾	Identified as priority hazardous substance
(1)	15972-60-8	240-110-8	Alachlor	
(2)	120-12-7	204-371-1	Anthracene	X
(3)	1912-24-9	217-617-8	Atrazine	
(4)	71-43-2	200-753-7	Benzene	
(5)	not applicable	not applicable	Brominated diphenylethers	X ⁽⁴⁾
(6)	7440-43-9	231-152-8	Cadmium and its compounds	X
(7)	85535-84-8	287-476-5	Chloroalkanes, C ₁₀₋₁₃	X
(8)	470-90-6	207-432-0	Chlorfenvinphos	
(9)	2921-88-2	220-864-4	Chlorpyrifos (Chlorpyrifos-ethyl)	
(10)	107-06-2	203-458-1	1,2-dichloroethane	
(11)	75-09-2	200-838-9	Dichloromethane	
(12)	117-81-7	204-211-0	Di(2-ethylhexyl)phthalate (DEHP)	X
(13)	330-54-1	206-354-4	Diuron	
(14)	115-29-7	204-079-4	Endosulfan	X
(15)	206-44-0	205-912-4	Fluoranthene	
(16)	118-74-1	204-273-9	Hexachlorobenzene	X
(17)	87-68-3	201-765-5	Hexachlorobutadiene	X
(18)	608-73-1	210-168-9	Hexachlorocyclohexane	X
(19)	34123-59-6	251-835-4	Isoproturon	
(20)	7439-92-1	231-100-4	Lead and its compounds	

(21)	7439-97-6	231-106-7	Mercury and its compounds	X
(22)	91-20-3	202-049-5	Naphthalene	
(23)	7440-02-0	231-111-4	Nickel and its compounds	
(24)	not applicable	not applicable	Nonylphenols	X ⁽⁵⁾
(25)	not applicable	not applicable	Octylphenols ⁽⁶⁾	
(26)	608-93-5	210-172-0	Pentachlorobenzene	X
(27)	87-86-5	201-778-6	Pentachlorophenol	
(28)	not applicable	not applicable	Polyaromatic hydrocarbons (PAH) ⁽⁷⁾	X
(29)	122-34-9	204-535-2	Simazine	
(30)	not applicable	not applicable	Tributyltin compounds	X ⁽⁸⁾
(31)	12002-48-1	234-413-4	Trichlorobenzenes	
(32)	67-66-3	200-663-8	Trichloromethane (chloroform)	
(33)	1582-09-8	216-428-8	Trifluralin	X
(34)	115-32-2	204-082-0	Dicofol	X
(35)	1763-23-1	217-179-8	Perfluorooctane sulfonic acid and its derivatives (PFOS)	X
(36)	124495-18-7	not applicable	Quinoxifen	X
(37)	not applicable	not applicable	Dioxins and dioxin-like compounds	X ⁽⁹⁾
(38)	74070-46-5	277-704-1	Aclonifen	
(39)	42576-02-3	255-894-7	Bifenox	
(40)	28159-98-0	248-872-3	Cybutryne	
(41)	52315-07-8	257-842-9	Cypermethrin ⁽¹⁰⁾	
(42)	62-73-7	200-547-7	Dichlorvos	
(43)	not applicable	not applicable	Hexabromocyclododecanes (HBCDD)	X ⁽¹¹⁾
(44)	76-44-8/ 1024-57-3	200-962-3/ 213-831-0	Heptachlor and heptachlor epoxide	X
(45)	886-50-0	212-950-5	Terbutryn	

W1.3 - W1.4質問の流れ

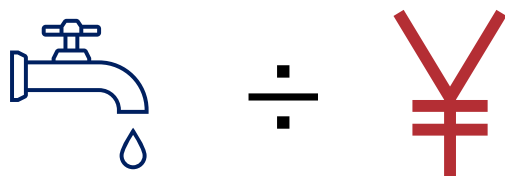


W1.3 水原単位

(W1.3) 貴社の総取水効率を示す数値を記入してください。

総取水量 ÷ 売上 = 効率 という計算にて、売上額ベースでの水使用量・効率性を認識できます。

SDGターゲット 6.4.1 - 水利用効率 に関連



<回答項目>

- ・売上
- ・総取水量(メガリットル)
- ・総取水量効率[自動計算]
- ・予測される将来の傾向 : 1年後以降の将来の傾向についての記述

注: [総取水量(メガリットル)]欄の数値が、質問W1.2bの[総取水量]行の[量(メガリットル/年)]欄の数値と整合していることをご確認ください。

W1.4 有害物質

新しい質問



(W1.4) 規制当局により有害と分類される物質を含んだ貴社製品はありますか。

Products contain hazardous substances

Select from:

- Yes
- No
- Unknown

- マネジメントレベルまでの採点（Noが高評価）
- 企業は、自社の製品に有害物質が含まれているかどうかを把握し、積極的に減らすことが奨励されています。

(W1.4a) 規制当局により有害と分類される物質を含んだ貴社製品が売上に占める割合を教えてください。

- 認識レベルまでの採点
- 操業地域とその地域で適用される規制を照合し、回答

水質汚濁防止法有害物質として、人体に健康被害を及ぼす恐れがあるとして、28種類の物質が定められています

規制当局による有害物質指定	このリストにある物質を含んだ製品が売上に占める割合	説明してください
選択肢: • EU REACH規則の附属書XVII • Candidate List of Substances of Very High Concern for Authorisation above 0.1% by weight(EU規制) • EU残留性有機汚染物質 (POPs)規制 • UK REACH規則附属書XIV • Candidate List of Substances of Very High Concern(英国規制) • Federal Water Pollution Control Act / Clean Water Act (米国規制) • 水質汚濁防止法 (日本規制) • Guidelines for Controlling the Use of Key Chemical Substances in Consumer Products(中国規制)	選択肢: • 不明 • 10%未満 • 10~20 • 21-40 • 41-60 • 61-80 • 80%超	文章入力欄[最大1,500文字]

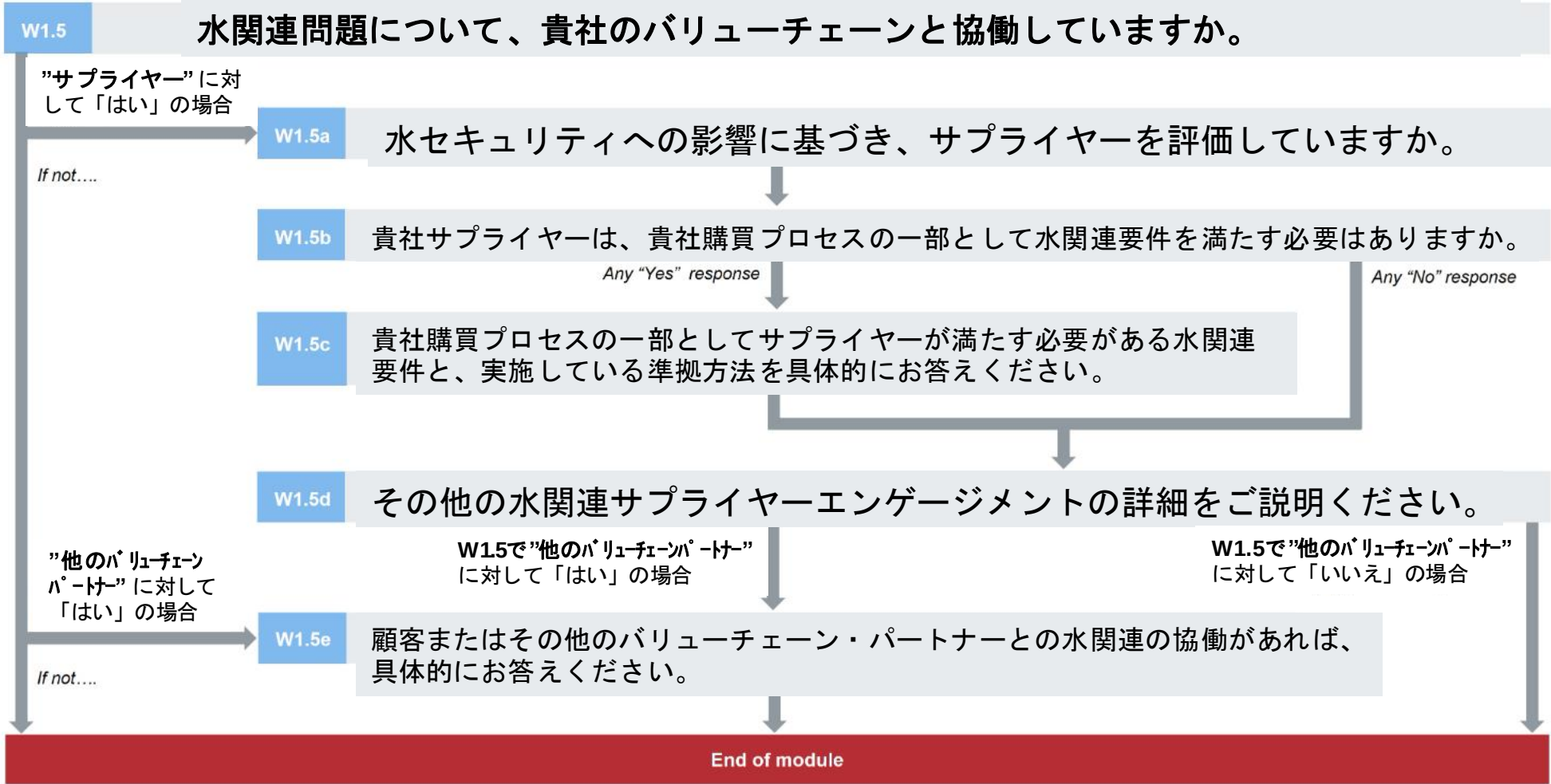
有害物質：

難分解性、生物蓄積性、毒性（PBT）、超難分解性、超生物蓄積性（vPvB）、発がん性、変異原性、生殖毒性（CMR）、内分泌かく乱物質（ED）などの本質的に負の性質を持つ物質

バリューチェーン・エンゲージメント（W1.5 質問群）



- ▼ W1.1の質問との関連性を削除し、すべての企業にW1.5以降の質問を尋ねるようにしました。
- ▼ 企業の直接的な事業活動だけでなく、サプライチェーンでの影響削減も含めた行動を推進します。



質問	変更点
W1.5	質問の変更 (2022年 W1.4)
W1.5a	新しい質問
W1.5b	新しい質問
W1.5c	新しい質問
W1.5d	質問の変更 (2022年 W1.4b)
W1.5e	質問の変更 (2022年 W1.4c)

W1.5 - バリューチェーンとの連携

Aリストの必須条件に
直結する設問



(W1.5) 水関連の問題に対し、貴社のバリューチェーンと協働していますか。

質問の改訂

- ▼ この質問は、（2022年の）W1.4とW1.4dを統合して再構成したものです。
- ▼ 協働していない場合はその理由や予定などを「説明してください」欄に記載ください。

0	1	2	3
バリューチェーンの関係者	協働	協働していない主な理由*	説明してください*
Suppliers ↑サプライヤー	Select from: • <u>Yes</u> • No	Select from: • We are planning to do so within the next two years • Judged to be unimportant • No instruction from management • Important but not an immediate business priority • Lack of internal resources • Other, please specify	Text field [maximum 1,500 characters]
↓他のバリューチェーンパートナー Other value chain partners (e.g., customers)			

この2列は、1列目で「No」を選択した場合のみ表示されます。

“サプライヤーと協働”することや、“今後2年以内に協働する予定である”ことが認識レベル以上で評価されます。

W1.5 - バリューチェーンとの連携

(W1.5a) 貴社は、水セキュリティへの影響に応じてサプライヤーを評価していますか。

新しい質問

- この質問により、データ利用者は、企業がサプライチェーンのどの部分において水セキュリティ上の影響が発生しているかを認識しているかどうかを把握することができます。
- この質問の「サプライヤー」は、直接 (一次) のサプライヤーを指します。

評価あり→影響を評価するために採用した手法の説明
今後予定→影響を評価するための計画（実行の時期への言及含む）
について説明

サプライヤーによる影響評価	評価項目*	重大な影響を及ぼすと特定されたサプライヤー数*	重大な影響を及ぼすと特定されたサプライヤーが全体に占める割合*	説明してください
選択肢: ・はい、サプライヤーの影響評価を行っています ・いいえ、現時点ではサプライヤーの影響評価を行っていませんが、今後2年以内にこれを行う予定です ・いいえ、現時点ではサプライヤーの影響評価を行っていません。そして、今後2年以内にこれを行う予定もありません	該当するものをすべて選択: ・河川流域の状況(例：水ストレスや上下水道・衛生(WASH)サービスへのアクセス) ・サプライヤーの水依存度 ・サプライヤーの水利用可能性への影響度 ・サプライヤーの水質への影響度 ・調達コスト ・その他、具体的にお答えください	数値記入欄	選択肢: ・なし ・1%未満 ・1～25 ・26～50 ・51～75 ・76～99 ・100% ・不明	文章記入欄

W1.5 - バリチェーンとの連携



新しい質問

(W1.5b) 貴社の購買プロセスの中で、サプライヤーは水関連要件を満たす必要がありますか。

- はい、自社のサプライヤー契約には水関連要件が含まれています
 - はい、サプライヤーは水関連要件を満たす必要がありますが、自社のサプライヤー契約には含まれていません
 - いいえ、しかし今後2年以内に水関連要件を含む予定です
 - いいえ、また今後2年以内に水関連要件を含む予定もありません
- 水関連要件：取引する際の水に関する要求や指標

(W1.5c) 組織の購買プロセスの一部としてサプライヤーが満たさなければならない水関連要件と、実施されている遵守方法を具体的にご説明ください。

1	2	3	4	5	6
水関連要件	遵守が必要な、重大な影響を持つサプライヤーの割合*	遵守している、実質的に影響を持つサプライヤーの割合*	遵守を監視するための仕組み	サプライヤーの不遵守時の対応	コメント
Select from: • Response drop-down options below table 取引先に求める事項 (選択式)	Select from: • Unknown • Less than 1% • 1-25 • 26-50 • 51-75 • 76-99 • 100%	Select from: • Unknown • None • Less than 1% • 1-25 • 26-50 • 51-75 • 76-99 • 100%	Select all that apply: • Certification • Community-based monitoring • Fines and penalties • Geospatial monitoring tool • Grievance mechanism/Whistleblowing hotline	Select from: • Exclude • No response • Retain and engage • Suspend and engage • Other, please specify	Text field [maximum 1,000 characters]

[回答行を追加]: 複数回答の場合は最良の回答行を評価、かつ複数回答による追加的な評価あり

W1.5 - バリチェーンとの連携

(W1.5d) その他の水関連サプライヤーエンゲージメント活動の詳細を示して下さい。

- ▼ W1.5にて「はい...」を選んだ場合にのみ表示
- ▼ “情報収集”、“インセンティブの提供”、“技術革新と協力”を基本とした選択肢ベースの回答
- ▼ 活動が特にない場合は、1列目で最初の選択肢を選び、記述にて状況等を説明（認識レベル以上にて評価は下がります）

エンゲージメントの種類	エンゲージメントの詳細*	サプライヤー数の割合*	重大な影響を及ぼすサプライヤーの割合*	エンゲージメントの根拠	エンゲージメントの影響と成果の評価方法*
選択肢: •サプライヤーとのエンゲージメントは他にない •情報収集 •インセンティブの提供 •技術革新と協力 •その他	該当するものをすべて選択: •回答ドロップダウン選択肢	選択肢: •なし •1%未満 •1～25 •26～50 •51～75 •76～99 •100% •不明	選択肢: •なし •1%未満 •1～25 •26～50 •51～75 •76～99 •100% •不明	文章入力欄 エンゲージメント活動を行った根拠 / 行っていない理由	文章入力欄 成功度を評価するために使用した指標についての説明、など

昨年の「調達額別割合」から変更。水で重要な影響のあるサプライヤー数を分母として、その割合を回答

W1.5 - バリューチェーンとの連携



(W1.5e) 顧客やその他のバリューチェーン・パートナーとの水関連のエンゲージメント活動がある場合は、記載して下さい。

▼ 報告の手間を省き、企業が標準的な方法から選んで報告できるように、自由記述(2022 W1.4c)から表形式に再構成しました。

ステークホルダーの種類	エンゲージメントの種類	エンゲージメントの具体的内容	エンゲージメントの根拠	エンゲージメントの影響と成果の評価方法
選択肢: •顧客 •投資家とステークホルダー •その他、具体的にお答えください	選択肢: •教育/情報の共有 •技術革新と協力 •その他	該当するものをすべて選択: •回答ドロップダウン選択肢	文章入力欄 エンゲージメント活動を行った根拠	文章入力欄 成功度を評価するために使用した指標についての説明、など

[回答行を追加]

教育/情報の共有

- 水関連のリスクへのエクスポージャーを理解・測定するためのステークホルダーへの教育/との連携
- 水と関連した貴社の実績や戦略をステークホルダーに周知するエンゲージメントキャンペーンを実施
- 貴社の製品、商品、サービス（の使用）による水への影響を、ステークホルダーに周知するエンゲージメントキャンペーンを実施
- 貴社製品および関連する認証制度についての情報を共有
- その他、具体的にお答えください*

技術革新と協力

- 製品やサービスで水関連の影響を減らすための取り組みでのステークホルダーとの協働
- 方針や規制の変更を求めるためのステークホルダーとの協働
- ステークホルダーが当該河川流域の他の利用者と協力して持続的な水管理に取り組むよう奨励
- その他、具体的にお答えください*
- その他
- その他、具体的にお答えください*

モジュール 2 : 事業への影響

W2 事業への影響



W2 事業への影響



2023年版モジュール
W0 導入
W1 現状
W2 事業への影響
W3 手順
W4 リスクと機会
W5 施設レベルの水会計
W6 ガバナンス
W7 事業戦略
W8 目標
W9 検証
W10 プラスチック
W11 最終承認
SW サプライチェーン

(W2.1) 貴社は、(報告年において)水関連の悪い影響を受けましたか。

- はい
- いいえ

悪い影響...水に直接または間接的に関連し組織に影響を与える問題、課題

(W2.1「はい」の回答の場合)

(W2.1a) 貴社が被った水に関連する悪影響、その対応、総合的な財務上の影響について具体的にお答えください。

国/地域	河川流域	影響要因の種類	主な影響要因	主な影響
選択肢: •国/地域選択	選択肢: •河川流域選択 •不明 •その他	選択肢: •急性の物理的リスク •慢性の物理的リスク •規制 •評判および市場 •技術	選択肢より回答	選択肢より回答
影響の詳細		主な対応	財務上の影響総額	対応の詳細
文章入力欄		選択肢より回答	数値記入欄	文章入力欄

W2 事業への影響

2023年版モジュール
W0 導入
W1 現状
W2 事業への影響
W3 手順
W4 リスクと機会
W5 施設レベルの水会計
W6 ガバナンス
W7 事業戦略
W8 目標
W9 検証
W10 プラスチック
W11 最終承認
SW サプライチェーン

(W2.2) 貴社は報告年に、水関連の規制違反を理由として罰金、法的命令、その他のペナルティを科されましたか。

水関連規制に関する違反	罰金、執行命令またはその他の罰則*	コメント
選択肢: • はい • いいえ • 不明	該当するものをすべて選択: • 罰金 • 執行命令またはその他の罰則 • 罰金。ただし、重大と見なされるものはなし • 執行命令またはその他の罰則。ただし、重大だと見なされるものはなし	文章記入欄

※ 報告年に
科されたもの
に関して報告

(W2.2a) 水関連の罰金の合計件数および総額をお答えください。

罰金の合計件数	罰金の総額	関連する施設/操業全体に占める比率 (%)	罰金件数の前報告年比	コメント
数値記入欄	数値記入欄	パーセンテージ値 記入欄	選択肢: • 大幅に少ない • 少ない • ほぼ同じ • 多い • 大幅に多い • 初めての測定（前報告年なし）	文章記入欄

W2 事業への影響

(W2.2b) 報告年に水関連の規制違反で科された重大な罰金、法的命令、その他すべてのペナルティ、およびその解決の計画について、具体的に説明してください。

回答項目

- ・ **罰則の種類** : 選択式（罰金／法的命令／その他の罰則（具体的に記述））
- ・ **財務上の影響** : 金額を数値記入回答
- ・ **国/地域** : 選択式
- ・ **河川流域** : 選択式（河川流域、不明、その他(具体的に記述)）
- ・ **問題の種類** : 選択式
- ・ **ペナルティ、事故、規制違反、重大性、解決の詳細**
: 解決したか、どう解決するか、取組予定などの情報を文章にて回答。

※ 「重大な」の定義はCDPではしていません。地域や事業の性格により大きく異なり、環境、コミュニティや事業への大きな影響を及ぼすものと考えます。

モジュール3：手順

W3 手順



W3.1

貴社では、事業活動に関連し、水の生態系や人間の健康に有害となりうる潜在的水質汚染物質を特定、分類していますか。

「はい、潜在的水質汚染物質を
特定・分類しています」

「いいえ、潜在的水質汚染物質を
特定・分類していません」、
「不明」

W3.1a

事業活動に関連した中で、水の生態系や人間の健康に及ぶ潜在的水質汚染物質の悪影響を、貴社でどのように最小限に抑えているか説明してください。

W3.3

貴社では水関連のリスクの評価を実施していますか。

「はい、水関連リスクの評価が実施されています」

「いいえ、水関連リスクは評価されていません」

W3.3a

水関連のリスクの特定と評価の手続きとして最も当てはまるものを選択してください。

W3.3b

貴社の直接操業およびバリューチェーンの他の段階における水関連のリスクの特定、評価、それへの対応に用いている、貴社のプロセスを具体的に説明してください。

W3.3c

貴社が水関連のリスク評価を実施しないのはなぜですか。

End of module

(W3.1) 貴社では、事業活動に関連し、水の生態系や人の健康に有害となりうる潜在的水質汚染物質を特定、分類していますか。



＜企業の取り扱う物質と排出物の特性に関連する潜在的な水質汚染物質を特定、分類していることを示すための質問＞

一般セクターの企業への新しい質問
(OG, FB, CH, EUの質問書では一部変更)



- W3.1 & W3.1aは、従来はセクター固有の質問でしたが、2023年からは一般質問項目になります。
- 2023年、この問題は全企業に対し、リーダーシップレベルまで評価されます。
(以前は、該当セクター (OG、FB、CH、EU) のみでマネジメントレベルまで採点)

- 水質汚染の可能性がある物：
- ・無機系汚染物質
 - ・油
 - ・硝酸塩
 - ・リン酸塩
 - ・その他の栄養素や酸素要求性汚染物質
 - ・農薬
 - ・その他の有機合成化合物
 - ・病原体
 - ・マイクロプラスチックやプラスチック小片
 - ・その他の物理的汚染物質
- ※ 熱水も含む

潜在的水質汚染物質の特定と分類	潜在的水質汚染物質の特定・分類方法	説明してください
選択肢: ・はい、潜在的水質汚染物質を特定・分類しています ・いいえ、潜在的水質汚染物質を特定・分類していません ・不明	文章入力欄 (「はい」の場合) 方針・プロセス、規定・基準、特定のための指標等の説明	文章記入欄 (「はい」以外の場合) 今後の基準作りの計画や時期などの説明



汚染物質管理手順

(W3.1a) 事業活動に関連した中で、水の生態系や人間の健康に及ぶ潜在的水質汚染物質の悪影響を、貴社でどのように最小限に抑えているか説明してください。



(W3.1「はい」の回答の場合)

一般セクターの企業への新しい質問
(OG, FB, CH, EUの質問書では一部変更)

＜特定した水質汚染物質に関連する悪影響を最小限に抑えるために実施している行動と手順の説明＞

水質汚染物質カテゴリー	水質汚染物質と潜在的影響の詳細	バリューチェーン上の段階	悪影響を最小限に抑えるための行動と手順	説明してください
選択肢: •無機汚染物質 •石油 •硝酸塩 •リン酸塩 •その他の栄養素と酸素を必要とする汚染物質 •農薬 •その他の合成有機化合物 •病原体 •マイクロプラスチックとプラスチック粒子 •その他の物理的汚染物質 •その他、具体的にお答えください	文章入力欄	該当するものをすべて選択: •直接操業 •サプライチェーン •製品使用段階 •その他、具体的にお答えください	選択肢から、該当するものをすべて選択（一部抜粋）: ・資源回復 ・水のリサイクル ・有害物質の削減または段階的使用停止 ・サプライヤーに規制要件準拠を義務付け ・措置を策定(研究開発)中 ・正式な手順はない ・その他、具体的にお答えください	文章入力欄

[回答行を追加]

- ▼ 該当する物質ごとに該当項目を回答（「その他…」等以外の選択を推奨）
- ▼ “説明してください”にて、手順によるリスク管理の概要、成否をどのように評価するか説明

W3 手順

2023年版モジュール
W0 導入
W1 現状
W2 事業への影響
W3 手順
W4 リスクと機会
W5 施設レベルの水会計
W6 ガバナンス
W7 事業戦略
W8 定性的目標・定量的目標
W9 検証
W10 プラスチック
W11 最終承認
SW サプライチェーン

(W3.3) 貴社では水関連のリスク評価を実施していますか。

(「はい」の回答の場合)

(W3.3a) 水関連のリスクの特定と評価の手続き(プロセス)として最も当てはまるものを選択してください。

以下を選択肢形式で回答:

- ①対象バリューチェーンや範囲
- ②リスク評価手順や状況
- ③利用するツールや手法について
- ④水関連のリスク評価で考慮される文脈上の問題
- ⑤水関連リスク評価で考慮される利害関係者

(同上)

(W3.3b) バリューチェーンの直接操業およびその他の段階における水関連リスクの特定、評価、および対応に関する貴社のプロセスを説明してください。

<以下各記述回答>

- ・ リスク評価アプローチの根拠
- ・ 検討したステークホルダーの説明
- ・ 検討した背景上の問題の説明
- ・ リスク対応に関する意思決定プロセス

(「いいえ」の回答の場合)

(W3.3c) 貴社が水関連のリスク評価を実施しないのはなぜですか。

<選択 + 記述回答>

W3.3の回答欄説明

(W3.3a) 水関連のリスクの特定と評価の手続きとして最も当てはまるものを選択してください。



下記、各種選択肢ベースでの回答(具体的な説明等はW3.3bにて行う形)

バリューチェーン上の段階	対象範囲	リスク評価手順	評価の頻度	どの程度の将来のリスクまで考慮しているか	利用しているツールと手法の種類
該当するものをすべて選択: •直接操業 •サプライチェーン •製品使用段階 •バリューチェーン上のその他の段階	選択肢: •全体 •一部	選択肢: •全社的リスク管理 •企業レベルのリスク評価 •環境リスク評価 •水リスク独立の評価 •その他	選択肢: •年に複数回 •年1回 •2年に1回 •3年に1回かそれ以上 •特定されていない	選択肢: •1年以内 •1～3年 •3～6年 •6年超 •不明	該当するものをすべて選択: •市販のツール •全社的リスク管理 •国際的方法と規格 •データベース •その他

利用しているツールと手法	考慮した文脈上の問題	考慮したステークホルダー
前項の選択に従った、リストの選択肢より該当するものをすべて選択: (前項“その他”の場合の選択肢: •社内的な方法 •社外コンサルタント •マテリアリティ評価 •国特有のデータベース、ツール、または規格 •シナリオ分析 •水源脆弱性評価)	該当するものをすべて選択: •河川流域/集水地における取水可能な水資源量 •河川流域/集水地における水質 •河川流域/集水地における水資源に関連したステークホルダー間の対立 •人体の健康への影響 •主要商品/原材料に対して水が持つ意味 •水関連規制枠組み •生態系および動植物生息環境の状態 •全従業員が、完全に管理された上下水道・衛生(WASH)サービスを利用できること •その他、具体的にお答えください	該当するものをすべて選択: •顧客 •従業員 •投資家 •地域コミュニティ •NGO •規制機関 •サプライヤー •地域レベルの水道事業者 •河川流域/集水地におけるその他の水利用者 •その他、具体的にお答えください

W3.3a /3.3b 評価基準のポイントについて

(W3.3a)

- ▼ [直接操業]+[サプライチェーン]に焦点を当てての回答が期待される
(“バリューチェーン上の段階”欄、認識レベル)
- ▼ ツールについては、各種のツール・規格等の使用（もしくは[社内的な方法]+[社外コンサルタント]（+他））による評価の実施が期待される
(“利用しているツールと手法”欄、マネジメントレベルにて評価)

マネジメント採点基準（抜粋）

- i) “対象範囲”欄で選択肢[全部]が選択されている
- ii) “評価の頻度”欄で[年に複数回]または[年1回]のいずれかの選択肢が選択されている
- iii) “どの程度の将来のリスクまで考慮していますか”欄で、次の選択肢のいずれかが選択されている
： [1～3年][3～6年][6年より先]

(W3.3b マネジメントレベル)

- ▼ “リスク評価アプローチの根拠”にて、W3.3aのツールの使用（対象範囲や方法を包含）について記述説明
- ▼ “リスク対応に関する意思決定プロセス”にて、リスク評価の結果をどう社内の意思決定プロセスに繋げるか、収集情報とリスク管理に基づく方法を記述説明

モジュール4：リスクと機会

W4.1a

W4.2

W4.2a

W4.3a

W4 リスクと機会 リスクエクスポージャー・水関連のリスクと対応

W4.1

貴社ではこれまで、事業に財務または戦略面で重大な影響を及ぼす可能性のある特有の水関連のリスクを特定したことがありますか。

W4.1a

貴社では、事業に及ぶ財務または戦略面での重大な影響を、どのように定義していますか。

W4.1の選択肢で「はい」を選択した場合

W4.1で「いいえ」

W4.1b

貴社の施設のうち、事業に財務または戦略面で重大な影響を及ぼす可能性のある水関連リスクをもつ施設は、合計でいくつありますか。またそれは貴社の施設全体のどの程度の割合を占めますか。

W4.1c

河川流域別に、貴社の事業に重大な財務上または戦略上の影響を及ぼす可能性のある水関連リスクにさらされている施設の数と割合はいくらですか、また、これらの施設に関連する、事業への潜在的な影響とはどのようなもののでしょうか。

W4.1の「はい、直接操業とその他のバリューチェーンの両方ではい」または「はい、直接操業の中でのみ」。

W4.2

貴社の直接操業において、事業に対し財務または戦略面で重大な影響を及ぼす可能性があるとして特定されたリスクと、それへの貴社の対応について、具体的に説明してください。

W4.1の「はい、直接操業とそれ以外のバリューチェーンの両方において」または「はい、直接操業を超えたバリューチェーンにおいてのみ」のいずれか

W4.2a

貴社の（直接操業以外の）バリューチェーンにおいて、事業に対し財務または戦略面で実質的影響を及ぼす可能性があるとして特定されたリスクと、それへの貴社の対応について、具体的に説明してください。

W4.1の「いいえ」または「はい、直接操業を超えたバリューチェーンにおいてのみ」のいずれか

W4.2b

貴社では、直接操業において、財務または戦略面で重大な影響を及ぼす可能性のある水リスクにさらされていないと考える理由は何ですか。

W4.1の「いいえ」または「はい、直接操業の中でのみ」のいずれか

W4.2c

貴社では、バリューチェーン(直接操業を超える)において、財務または戦略面で重大な影響を及ぼす可能性のある水リスクに曝されていないと考える理由は何ですか。

W4 リスクと機会 水関連の機会

W4.3

貴社ではこれまで、事業に財務または戦略面で重大な影響を及ぼす可能性のある水関連機会を特定したことがありますか。

「はい、機会を特定し、いくつかは実現しています」を選択

「機会はあるが、実現できていない」を選択した場合

「いいえ」を選択

W4.3a

貴社の事業に財務または戦略面で重大な影響を及ぼす可能性のある機会の実現方法について、具体的に説明してください。

W4.3b

貴社には水関連の機会がないと考えるのはなぜですか。

End of module

リスクと機会の把握はTCFDでも強く求められている内容です。
ここをしっかりと理解して開示することで、TCFD対応の道筋が見えてくることになります。

W4 Risks and opportunities／リスクと機会



直接操業・バリューチェーンにおける水問題を明確に認識していること、及びリスクへの対応方法や機会の活用について対外的にアピールできます。

《リスク》

W4.1 事業に財務または戦略面で実質的影響を及ぼす可能性のある水関連リスクを特定したことがありますか。

⇒ W4.1がYesの場合、詳細を回答(W4.1c, W5.1)

- ①水関連リスクをもつ施設数とその割合
- ②水関連リスクをもつ施設数とその割合(河川流域毎)と事業への潜在的影響の詳細

⇒ W4.1がNoの場合、その理由を回答(W4.2b、W4.2c)

W4.1a 貴社では、財務または戦略面での実質的影響をどのように定義しますか。

W4.2 特定されたリスクと、それへの対応についての詳細の説明

《機会》

W4.3 事業に財政または戦略面で実質的影響を及ぼす可能性のある水関連機会を特定したことがありますか。

⇒ Yesの場合、詳細を回答。Noの場合特定したことがない理由を回答

リスクエクスポージャー（直面するリスク）

W4.1bとW4.1cの質問は、いずれも直接業務とバリューチェーンの両方で確認されたリスクに関するものです（直接業務だけではありません）。

回答の際は、バリューチェーンにおけるリスクの影響を受ける可能性のある直接業務の施設数を報告してください。サプライヤーの施設を含める必要はなく、リスクにさらされているサプライヤーによって影響を受ける自社の施設を特定してください。

(W4.1c)

河川流域別に、貴社の事業に重大な財務上または戦略上の影響を及ぼす可能性のある水関連リスクにさらされている施設の数と割合はいくらですか、また、これらの施設に関連する、事業への潜在的な影響とはどのようなもののでしょうか。

国/ 地域	河川 流域	水リスク にさらさ れている 施設の数	会社全体の 施設におけ る割合(%)	世界全体での総 売上比の、潜在 的影響下にある 比率(%)	コメント
英国	テムズ 川	5	10%	30%	私たちは、テムズ川流域で、バリューチェーンにおける水リスクの影響を受け、私たちの事業に実質的な影響を与える可能性がある5つの物流センターを特定しました。これらの拠点は、当社のサプライヤーから調達した綿花で衣服を製造しており、その機能継続が当社の多くの小売拠点における事業継続を確保する上で重要であるため、当社にとって重要です。影響を受ける可能性のある全世界の売上高の割合は推定であり、影響の種類、大きさ、期間、およびサイトの一部または全部の閉鎖による小売店舗への打撃的影響の特殊性などの様々な要因に依存します。

水関連のリスクと対応

W4.2/W4.2a



貴社の直接操業/貴社のバリューチェーン(直接操業を超える)において、事業に対し財務または戦略面で重大な影響を及ぼす可能性があるとして特定されたリスクと、それへの貴社の対応について、具体的にお答えください。

期間
選択肢: ● 現在から1年以内 ● 1～3年 ● 4～6年 ● 6年超 ● 不明

潜在的影響の程度	可能性
選択肢: ● 高い ● やや高い ● 中程度 ● 中程度～低い ● 低い ● 不明	選択肢: ● ほぼ確実 ● 可能性が非常に高い ● 可能性が高い ● 5割を超える確率で ● 可能性がおおよそ5割 ● 可能性が低い ● 可能性が非常に低い ● 可能性が並外れて低い ● 不明

いずれかの欄で「不明」を選択した場合、この得点の対象にはなりません。

リスクは流域別に（回答欄を追加して）ご回答ください。

マネジメントとリーダーシップのレベルでは、最も良い行だけ（best row）が採点されます。

* W4.3a 機会に関する設問にも適用されます。

認識採点基準

記入した行の数に応じて、配点を各行に均等に配分し、認識ポイントが次のように付与されます:

- [国/地域]欄が記入されていて、且つ、[河川流域]で、[不明]を除く選択肢が記入されている - 1ポイント
- [リスクの種類]と[主なリスク要因]欄が記入されている - 1ポイント
- [主な潜在的影響]と[自社固有の内容]欄が記入されている - 1ポイント
- [期間]、[潜在的影響の程度]、および[可能性]欄で、[不明]を除くいずれかの選択肢が記入されている - 1ポイント
- [主な対応]と[対応の詳細]の欄が記入されている - 2ポイント

水関連のリスクと対応



(W4.2/W4.2a)貴社の直接操業/バリューチェーンにおいて、事業に対し財務または戦略面で重大な影響を及ぼす可能性があるとして特定されたリスクと、それへの貴社の対応について、具体的に説明してください。

マネジメントレベル、リーダーシップレベルのスコアの修正

2023年 マネジメント基準

マネジメントポイントを獲得するには、認識ポイントが満点付与されている必要があります

- i) [自社固有の説明]欄に、企業に固有の影響の状況がわかる、特定リスクの説明がされている - 1ポイント
- ii) [財務上の潜在的影響額 - (通貨)]欄に0より大きい数値が記入されている
または
[財務上の潜在的影響額 - 最小(通貨)]と[財務上の潜在的影響額 - 最大(通貨)]の両方の欄に0より大きな数値が記入されている - 1ポイント
- iii) リスクへの対応戦略の説明が、対応の行動と実施の時間スケールを示しつつ、[対応の説明]欄に記入されている - 1ポイント

1行のみ採点されます

企業固有という要件は削除され、代わりに実施の時間軸を示しての説明を求める

2023年 リーダーシップ基準

リーダーシップポイントを獲得するには、マネジメントポイントが満点付与されている必要があります。

- i) [財務上の影響についての説明]欄に、財務上の影響額を計算するために使用された手法の説明が記入されている - 1ポイント
- ii) [対応の費用]欄に数値が記入されている、且つ、[対応の費用についての説明]欄に、数値を計算するための方法に関する詳細が記入されている - 1ポイント

1行のみ採点されます

基準i)および
iii)の明確化

旧リーダーシップ
基準i)をマネジ
メントレベルに変更

基準ii)の
明確化



モジュール5： 施設レベルの水会計

W5 Facility-level water accounting／施設レベルの水会計 (水収支)

W5は、W4.1cで水リスクにさらされる設備があると回答した場合のみ表示されます。

W5.1

W4.1cで挙げた各施設について、地理座標、水会計データ、前報告年との比較内容をお答えください。

W5.1a

W5.1で挙げた施設について、第三者検証を受けている水会計データの比率をお答えください。

End of module

W5 Facility-level water accounting／施設レベルの水会計

W4.1で水リスクにさらされている施設があると回答した場合にのみ表示されます。
該当施設個別のデータを開示することで、水資源のホットスポットに焦点を合わせた
水管理が可能となります。

W5.1 W4.1cで挙げた各施設について、地理情報、水会計データ、前報告年との
比較内容を記入してください

施設情報（国/流域、緯度/経度等）

取水量、排水量、消費量と内訳・傾向

状況説明（記述）

水リスクがあるとする各施設について、流域や位置情報も含めて個別に回答して下さい。
複数施設をまとめて1つにして回答しないこと。

施設レベルの水会計

(W5.1) W4.1cで挙げた各施設について、地理座標、水会計データ、前報告年との比較内容を記入してください。



- ・ W5.1で報告する施設の数とW4.1cの施設数が一致していなければ、その点で評価されないのでご注意ください。（整合性）
- ・ W4.1の設問で貴社がリスクにさらされていない、とする回答をしている場合、W5の回答は現れず、回答の必要はございません。

施設数が不一致の場合の採点方法の明確化
下記が主な例です

W4.1c回答の施設数		W5.1回答の施設数	W5.1 マネジメントレベル採点
5	=	5	4ポイント獲得可能 ($4 \times 5/5$)
10	>	5	4ポイントにW5.1回答施設数の比率を乗じ、全行で分割。 $4 \times (5 \div 10) = 2$: マネジメントレベルで付与されるポイント リーダーシップレベル付与のポイントなし

※ ある施設の排水量または取水量をゼロと報告する場合、CDPは[説明してください]欄に記載される回答を評価し、この説明が有効であるかを判断します。有効であると判断された場合は、ポイントが付与されます。
例：クローズドループシステムにより、排水量がゼロである場合等

これは、W5.1のMM、EU、OGの採点にも適用されます

施設レベルの水会計

(W5.1a) W5.1で挙げた施設について、第三者検証を受けている水会計データの比率をお答えください。



マネジメント採点基準

次の行それぞれに対して...

- [取水量 - 総量]
- [排水量 - 総量]
- [排水量 - 標準水質パラメータ別の水質] ← **一般排水基準別**

...ルートA) [検証率(%)]欄で[76~100]が選択されている - 1ポイント

ルートB) 当該欄で[関連性なし]と回答の場合、
i) 質問W5.1のすべての行の[当該施設における総排水量]欄または[当該施設における総取水量]欄で[0]が報告されており、且つ、[説明してください]欄で排水量/取水量がゼロである有効な理由が記載されている - 1ポイント

または
質問W1.2jにおいて、[排水量 - 標準水質パラメータ別の水質]行の[検証率(%)]欄で[関連性なし]が選択され、且つ、[処理せずに第三者に排水]行の[この量が適用される操業地/施設/業務の割合(%)]欄で[100%]が選択されている - 1ポイント

Q：現在検証が進行中であり、年末までには検証結果の報告を受ける、という施設を比率に含めて回答して差し支えないでしょうか。

A：はい、含めて構いません。重要なのは、データを検証してもらうというアクションが行われたことです。

モジュール6：ガバナンス

W6 ガバナンス：水に関する企業方針取締役会の監督・経営責任



W6 ガバナンス：従業員インセンティブ・公共政策エンゲージメント

W6.4

水関連問題の管理に関して、経営幹部レベル役員または取締役インセンティブを付与していますか。

「はい」を回答

「いいえ」を回答

W6.4a

水関連問題の管理に関して、経営幹部レベル役員または取締役どのようなインセンティブを付与していますか(個人名は含めない)。

W6.5

貴社では、水に関する公共政策に直接的または間接的に影響を及ぼしうる活動に、以下のいずれかを通じて関与していますか。

「はい」を回答

「いいえ」を回答

W6.5a

公共政策に影響を及ぼそうとする直接的および間接的活動のすべてが、貴社の水に関する企業方針/誓約に合致するものとなるよう、どのようなプロセスを実施していますか。

W6.6

貴社は、水関連のリスクへの対応に関する情報を直近の財務報告書に含めましたか。

End of module

(W6.1) 貴社には水に関する企業方針がありますか。

(W6.1a) 貴社の水に関する企業方針の適用範囲と内容について、最もよくあてはまるものを選択してください。

公に公開されている（Publicly available）企業方針（Policy）を持つことが、2023年から評価上で大きな影響を持つようになりました。

W6.1: 2023年にマネジメントレベルで評価されるためには、企業は「水の方針を文書化し公開している」ことを報告する必要があります。

W6.1a: W6.1aの認識レベルにおいて、水に関する方針を促す要件(W6.1回答)を新設
→ 方針の公開がマネジメントレベル以上の評価の前提となります。

経営責任

(W6.3) 水関連問題に責任を持つ最高経営レベルの役職または委員会を示してください
(個人名は含めない)。



(W6.3) 管理責任

この職位における水関連の責任*

該当するものをすべて選択:

リスクと機会

- 水需要の今後の傾向の評価
- 水関連のリスクと機会の評価
- 水関連のリスクと機会の管理
- 水関連シナリオ分析の実施
- その他、具体的にお答えください

目標

- 水関連の定量的な企業目標の設定
- 水関連の企業目標に対する進捗状況のモニタリング
- その他、具体的にお答えください

協働

- 水セキュリティに影響を及ぼしうる公共政策エンゲージメントの管理
- 水関連問題に対するバリューチェーンエンゲージメントの管理
- その他、具体的にお答えください

戦略と財務計画

- 水関連問題の事業戦略への組み入れ
- 水セキュリティ関連の年間予算の管理
- 低影響水製品/サービス(研究開発を含む)関連の主な資本支出/操業費の管理
- 水関連の買収/合併/売却の監督
- その他、具体的にお答えください

その他

- 水関連の従業員インセンティブの提供
- その他、具体的にお答えください



(W6.2b) ガバナンス・メカニズム

水関連問題が組み込まれているガバナンスのメカニズム

該当するものをすべて選択:

- 実施と実績のモニタリング
- 企業目標に向けての進捗状況のモニタリング
- 買収/合併/売却の監督
- 公共政策協働の監督と指導
- シナリオ分析の監督と指導
- 大規模な資本支出の監督
- 企業目標設定の監督
- バリューチェーン協働の監督
- 従業員インセンティブの提供
- 年間予算の審議と指導
- 事業計画の審議と指導
- 企業責任戦略の審議と指導
- 主要な行動計画の審議と指導
- リスク管理方針の審議と指導
- 戦略の審議と指導
- 技術革新/研究開発の優先度の審査
- 実績目標の設定
- その他、具体的にお答えください

マネジメント採点基準(要旨抜粋)

[この職位における水関連の責任]にて、
3つ以上を選択

リーダーシップ採点基準(要旨抜粋)

上記選択したものについて、(“水関連の
今後の傾向の評価”以外)
質問W6.2bにて、対応する選択肢が選
択されている場合に評価される

複数選択している場合、整合性のため、
全ての選択肢が対応する条件を満たしている
必要があります。

水関連の管理責任と、水関連問題の取締役会レベルの監督との連携を奨励するための改訂（質問W6.2bと対比）。

経営責任

(W6.3)水関連の問題に責任を負う経営層レベルで最上位の職位または委員会を記入します(個人名は含めない)。

W6.3と、W6.2bの整合性について

- ▼ “Water-related responsibilities of this position”欄にて複数選択された場合、それぞれがいずれかの条件を満たせばよい、つまり、W6.3で選択をした「水関連の責任」の項目に限定して、各条件を満たせば整合性が取れていると言えます。

(Please note: If multiple selections are made in column ‘Water-related responsibilities of this position’, each selection will need to meet one of the above conditions.)

(W6.3) 管理責任

vs

(W6.2b) ガバナンス・メカニズム

この職位における水関連の責任*

該当するものをすべて選択:

リスクと機会

- 水需要の今後の傾向の評価
- 水関連のリスクと機会の評価
- 水関連のリスクと機会の管理
- 水関連シナリオ分析の実施
- その他、具体的にお答えください

目標

- 水関連の定量的な企業目標の設定
- 水関連の企業目標に対する進捗状況のモニタリング
- その他、具体的にお答えください

水需要・・・組織が事業目標や戦略目標を達成するために必要な水の量。

役員へのインセンティブ

(W6.4a) 水関連の問題の管理に関して、経営幹部レベル役員または取締役によどのようなインセンティブが付与されていますか(個人名は含めない)。

インセンティブの種類	インセンティブを得る資格のある役職	実績指標	説明してください
金銭的褒賞 金銭的褒賞	該当するものをすべて選択: - 取締役会長 - 取締役会/執行役員会 - 取締役 - 会社重役チーム - 最高経営責任者(CEO) - 最高財務責任者(CFO) - 最高執行責任者(COO) - 最高調達責任者(COO) - 最高リスク管理責任者(CRO) - 最高サステナビリティ責任者(CSO) - その他の最高経営層 - その他、具体的にお答えください - このインセンティブが与えられている者はいない	該当するものをすべて選択: - 取水量の削減 - 消費量の削減 - 効率の向上 – 直接操業 - 効率の向上 – サプライチェーン - 効率の向上 – 製品使用 - 排水水質の改善 – 直接操業 - 排水水質の改善 – サプライチェーン - 排水水質の改善 – 製品使用 - 従業員認識キャンペーンまたはトレーニングプログラムの実施 - サプライチェーン・エンゲージメント - 職場の上下水道・衛生(WASH)サービスを利用できる機会増加 - 水関連の地域社会プロジェクトの実施 - その他、具体的にお答えください	文章入力欄[最大1,500文字]
非金銭的褒賞 非金銭的褒賞			

- インセンティブが金銭的、あるいは非金銭的の一方しかない場合も両行の選択肢の選び漏れや、「説明してください」部分の空白がないようにしてください。
- 水固有の目標がインセンティブにあることが望ましいですが、環境目標の一部が水に関連し、その達成度合いが報酬などに反映される場合もインセンティブがあると言えます。

公共政策との協働

(W6.5a) 公共政策に影響を及ぼそうとする直接的および間接的活動のすべてが、貴社の水に関する企業方針/コミットメントに合致するものとなるよう、どのようなプロセスを実施していますか。

- ▼ 貴社活動と貴社方針や誓約が一貫していて不整合がないことを記述説明する設問です。
- ▼ 取締役会は、外部からの政策課題に影響を与えようとする活動が、水の安全保障に関する会社のコミットメントと戦略目標に合致していることを確認するためのメカニズムを確立することが重要です。
- ▼ 経済団体との関連性があるだけでは、公共政策との関連性の説明が不十分なのでお気を付けください。日本では経済団体との関係が深く公共政策と関連していることが多々ありますが、グローバルに見ると必ずしもそうではないため、もし話題に出す場合は必ず本来の公共政策との協働の紐づき方についても説明を行ってください。

モジュール7：事業戦略

W7 事業戦略 戦略プラン・設備投資 (CAPEX)/操業費 (OPEX)・水プライシング

W7.1

水関連問題は、貴社の長期的・戦略的事業計画のいずれかの側面に組み込まれていますか。
もしそうであれば、どのように組み込まれていますか。

W7.2

報告年における貴社の水関連の設備投資費 (CAPEX) と操業費 (OPEX) の傾向と、次報告年に予想される傾向をお答えください。

W7.3

貴社では、事業戦略を決定するためにシナリオ分析を用いていますか。

「はい」を回答

「いいえ」の回答を選択した場合

W7.3a

シナリオ分析の詳細、どのような水関連成果を特定したか、そして貴社組織の事業戦略にどのように影響を及ぼしたかについて説明してください。

「はい」を回答

W7.4

貴社では、社内ウォータープライシング（内部的価格付け）を実施していますか。

W7.5

貴社が現在製造や提供をしている製品やサービスの中で、水の影響を少なく抑えているものはありますか。

End of module

シナリオ分析

(W7.3a)



シナリオ分析の詳細、どのような水関連成果を特定したか、そして貴社組織の事業戦略にどのように影響を及ぼしたかについて説明してください。

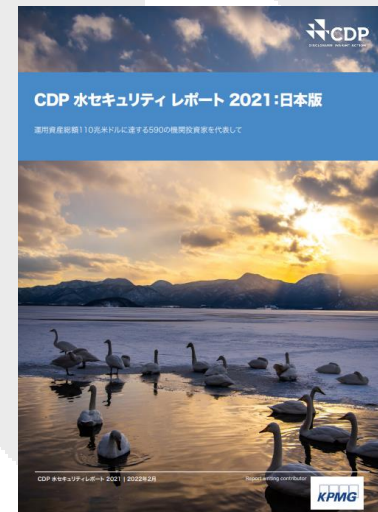
- ▼ 水関連(Water-related outcome) の部分でシナリオ分析について自社固有の説明をしてください。(マネジメント要件)、加えて、事業戦略への影響も記載下さい。(リーダーシップレベル i) 述べられた水関連結果に対する事業対応または戦略的対応の説明 ii) 貴社の対応に関して予想されるスケジュール)
- ▼ [使用したシナリオ分析の種類]は選択肢にある通り、水が中心のシナリオ分析でなくとも、結果が水に関連していれば記述いただけます(例:気候シナリオ分析の中で水害などが増えるなど)

使用したシナリオ分析の種類	パラメータ、仮定、分析的選択	想定される水関連の分析結果の詳細	事業戦略への影響
該当するものをすべて選択: - 水関連 - 気候関連 - 社会経済的 - 土地利用変更 - その他、具体的にお答えください	文章入力欄[最大2,500文字]	文章入力欄[最大1,500文字]	文章入力欄[最大1,500文字]

ウォータープライシング（水の社内価格付け）

(W7.4) 貴社では、社内ウォータープライシング（内部的価格付け）を実施していますか。

- **インターナルウォータープライシング**とは：水道事業者に支払う料金やその他の直接的な供給コストを超えて、組織にとっての水の経済的価値を金銭的に反映した指標。この価値は、水利用に関連する内部および/または外部コスト、ならびに水から得られる企業にとっての利益（例：規制コストの回避、水関連資本支出、流域水不足の影響、水生生態系が提供するサービス、社会的利益、株価への関連）を考慮することが可能です。
現在および/または将来の予測であり、様々な時間スケール、不確実性のレベル、および地域を反映することが可能となります。こうした内部水価格は、戦略、事業、財務計画で使用され、水の節約、スチュワードシップ、保全の取り組みに関する投資決定に情報を提供することが可能です。コスト削減、リスク回避、投資評価の決定、効率化やリサイクルの提案と実行の事前・事後比較などを効果的に行うことができます。
- **水の評価(Water valuation)**：水の価格、または組織にとっての水の価値に関連する他のタイプの指標を導き出すための方法。価格設定手法の例：
 - シャドープライス(Shadow price)**：隠れたリスクと機会を評価し、将来の投資の意思決定に使用。暗黙の価格 (Implicit price)：水の削減目標を持つ企業の中には、削減・調達コストを使用量(m³)で割って「暗黙の水価格」を算出するところもある。
 - 内部手数料(Internal fee)**：水への影響(消費や排出)に対して企業が事業部門に課す料金。
- 水の社内価格付けは、水道サービスの供給業者に支払われる価格ではないことに注意してください。



(W7.5) 貴社が現在製造や提供をしている製品やサービスの中で、水の影響を少なく抑えているものはありますか。

水資源の影響が少ないと分類した製品および/またはサービス	水資源の影響が少ないと分類するために使用した定義*	自社の現行製品および/またはサービスが水資源への影響が少ないと分類しない主な理由*	説明してください
選択肢: - はい - いいえ、しかし今後2年以内に取り組む予定です - いいえ、また今後2年以内にこれに取り組む予定もありません	文章入力欄 [最大5,000字]	選択肢: - 重要だが、差し迫った事業上の優先事項ではない - 重要でないと判断し、理由も説明 - 社内リソースの不足 - 経営陣から指示がないため - その他、具体的にお答えください	文章入力欄 [最大1,000字]

- 製品/サービスを水への影響度が低いものとして分類するために使用した定義を、「水への影響度が低いものを分類するために使用した定義」欄に記載してください(マネジメントレベル)
- ここでは、自社製品やサービスのなかで、一般競合他社製品や自社のこれまでの製品(比較方法は自由)などと比べて、水への悪影響を減らしているものなどについて開示いただけます。
- 取水量や水汚染量など、こういった影響を低減しているかについてもPlease explain内で解説いただくことが期待されます

モジュール 8 : 目標

W8 目標: 水に関する目標

W8.1

貴社には水関連の定量的目標がありますか。

はい

「いいえ」に関連する
回答

W8.1a

水質汚染、取水量、WASH、その他の水関連カテゴリーと関連する定量的目標があるか否かを教えてください。

W8.1b

貴社の水関連の定量的目標およびそれに対する進捗状況を具体的に教えてください。

W8.1c

貴社に水関連の定量的目標がない理由と、今後策定する予定があるものがあればその内容をお答えください。

End of module

W8 Targets／目標



(W8.1a) 水質汚染、取水量、WASH、その他の水関連カテゴリーと関連する定量的目標があるか否かを教えてください。

W8.1の回答で[はい]を選択した場合にのみ、この質問が表示されます。

それぞれへの目標設定に対して評価される構成になっています。

W8.1b 定量的目標(Target)の詳細・進捗状況

水質汚染、取水量、WASHサービスへのアクセスなど、事業運営の重要な側面について、時間軸を含め追跡可能な水関連の定量的目標を設定することが期待されます。

・目標参照番号 <過去の報告から共通の通し番号を入力>

・目標のカテゴリー：選択式

・目標の対象範囲：選択式

・定量指標：選択式

・目標導入年 (Year target was set)

・基準年 (Base year)

・基準年の数値

・目標年 (Target year)

・目標年の数値

・報告年の数値

・基準年に対して達成された目標の割合（自動計算）<それぞれの入力数値から%値にてとして算出>

・報告年の目標の状況：選択式

・説明してください：文章回答

報告年において有効(active)な目標のみスコアリングされます

有効(active)の定義: Start year must not be before baseline year, target year follows both, target year is no earlier than the reporting year. (開始年は基準年より前であってはならず、目標年は両方に続き、目標年は報告年より前であってはならない。)

例 1)

-Reporting year: 2023

-Baseline year: 2020

-Start year: 2020

-Target year: 2030

例 2)

-Reporting year: 2023 (報告年)

-Baseline year: 2020 (基準年)

-Start year: 2022 (開始年)

-Target year: 2023 (目標年)

水関連目標

W8.1b 水に関する目標とその進捗状況を詳しく説明してください。

リーダーシップの評価には、目標カテゴリーの一貫性を確保するために、W8.1aとW8.1b (目標の詳細を報告する質問)との整合性のクロスチェックが含まれます。

([水質汚染、取水量、WASH]目標への対応)

* W8.1bで減点するのではなく、W8.1aのリーダーシップでクロスチェックされ加点（最大1.5点）する形でスコアに反映

例：

W8.1bにおいて、施設の認証（例えばAWS認証）の全社的な目標があっても、施設目標として報告する必要があるのか。

→いいえ、企業は3列目で目標の対象範囲を示すことができます。この場合、企業は、定量目標の対象範囲（3欄目）で「Company-wide」を選択し、定量的指標（4欄目）で「Other, please specify」を選択して、施設の認証取得が目標であることを示すことができます。

マネジメント基準

マネジメント採点基準

マネジメントポイントを獲得するには、認識ポイントが満点付与されている必要があります。

マネジメントポイントを獲得するには、以下の条件が満たされている必要があります：

- [基準年]欄に記載された年が[目標を設定した年]欄に記載された年以前となっている。
- [目標を設定した年]欄に記載された年は質問W0.2の[終了日]欄に記載された年以前であり、且つ、[目標年]欄に記載された年より前でなければなりません。
- [目標年]欄に記載された年は質問W0.2の[終了日]欄に記載された年以降です。
- [基準年]欄に記載された年は[目標年]欄に記載された年より前でなければなりません。
- [目標年]欄に記載された年数が質問W0.2の[終了日]欄に記載された年と同じである場合、[基準年に対して達成された目標の割合]欄には[100]と入力してください。

- [報告年の目標の状況]欄で次のいずれかの選択肢が選択されている：

[新規]
[実行中]
[達成済み]
[改訂]

次のように回答した行の数に比例して、記入した行ごとにポイントが付与されます：

ii) [基準年に対して達成された目標の割合]欄に、0より大きい数値が記入されている

または

[報告年の目標の状況]欄で[新規]が選択されている、且つ、[目標を設定した年]欄に記載された年が質問W0.2の[終了日]欄に記入された年と同じである - 2ポイント

この質問では最大2ポイントを獲得できます。

リーダーシップ基準

リーダーシップ採点基準

リーダーシップポイントを獲得するには、マネジメントポイントが満点付与されている必要があります。

次のように回答した行の数に比例して、記入した行ごとにポイントが付与されます：

以下の式が満たされている必要があります：

i) [基準年に対して達成された目標の割合] $\geq ((\text{質問W0.2の[終了日]欄に記載された年} - [\text{基準年}]) * 100) / ([\text{目標年}] - [\text{基準年}]) - 1$ ポイント

この質問では最大1ポイントを獲得できます。

モジュール 9 : 検証

W9 検証

W9.1

CDP情報開示で報告する（W5.1aの対象を除く）その他の水情報について、検証を実施していますか。

「はい」を回答

「はい」以外の回答

W9.1a

貴社のCDP開示の中ではどのデータポイントを検証しましたか。また、どのような基準を使用しましたか。

End of module

W9 Verification／検証

2023年モジュール

W0 導入

W1 現状

W2 ビジネスへの影響

W3 手順

W4 リスクと機会

W5 施設レベルでの水会計

W6 ガバナンス

W7 事業戦略

W8 目標

W9 検証

W10 プラスチック

W11 サインオフ

SW サプライチェーン

水関連のデータポイントの外部検証を受けている場合、それを示すことで貴社回答への信頼性が向上します。

W9.1 CDP情報開示で報告する（W5.1aの対象を除く）その他の水情報について、検証を実施していますか。

⇒Yesの場合、詳細を回答(W9.1a)

開示モジュール	検証したデータ	検証基準	説明してください
---------	---------	------	----------

水情報の検証



W9.1、W9.1aを新たにマネジメントレベルで評価

(W9.1) CDP情報開示で報告された、他の水情報を検証していますか（W5.1aで挙げていないもの）。

回答選択肢

以下の選択肢のうちから1つを選択します:

- 1/1 pt
- 0/0 pt
- はい
 - 実施中
 - いいえ、しかし今後2年以内の検証実施を積極的に検討中
 - いいえ。より熟成した検証基準やプロセスを待っている
 - いいえ、現在はCDP情報開示で報告する他の水関連情報を検証していません

W4.1でリスクのある施設を報告していない（従ってW5.1aの検証質問が表示されない）企業には、その他の水関連情報の検証についてマネジメントレベルで評価される機会が与えられています。

(W9.1a) CDP情報開示のうち、どのデータポイントが検証され、どの基準が用いられましたか。

開示モジュール	検証したデータ	検証基準	説明してください
選択肢: - W0 インTRODクシヨン - W1 現状 - W2 事業への影響 - W3 手順 - W4 リスクと機会 - W6 ガバナンス - W7 戦略 - W8 目標 - SW サプライチェーン・モジュール	文章入力欄[最大1,000 文字]	選択肢: - AA1000AS - ASAE3000 - ウォーター stewardship 認証に関するアライアンス - Compagnie Nationale des Commissaires aux Comptes (CNCC) - IDW AsS 821:IDW Assurance Standard:サステナビリティ問題の報告の監査または審査に関する一般に認められている保証指針 - ISAE 3000 - サステナビリティレポートの保証に関するRevR6手順 - その他、具体的にお答えください	文章入力欄[最大2,000文字]

M:どちらかで1点

W5.1aで検証が既に報告されている場合は、本項にて検証を報告していなくても減点の対象とはなりません。

モジュール10：プラスチック

CDPプラスチック情報開示



CDPのプラスチックビジョン

プラスチック廃棄物やプラスチック汚染をなくするために必要な透明性、行動、説明責任を
情報開示によって実現します

パートナー

資金提供：ピュー・チャリタブル・トラスト（米NGO）

ミンデルー財団（豪）

協力：エレン・マッカーサー財団（英）



CDPプラスチック情報開示



なぜ、水セキュリティ質問書にプラスチック質問が入るのか。

- **水の汚染**：環境からプラスチックを排除することは、海と淡水の生態系の健全性を回復するために不可欠です。
- **業種的な類似**：CDPウォーターセキュリティの質問書で開示が求められている業種と、プラスチックを生産・使用する活動を伴う可能性が高いセクターの間には、共通性があります。

2023年 水セキュリティ質問書（完全版）のプラスチックモジュール

- 簡易版では表示されません
- 今年度は採点対象外です



プラスチック情報開示：用語の定義



- ▼ **プラスチック**：熱可塑性プラスチック、ポリウレタン、エラストマー、熱硬化性樹脂、接着剤、コーティング剤、シーラント、PP繊維など、最終製品に成型できるポリマー（分子単位を繰り返す大きな鎖状の分子）を含む材料。2023年のCDP開示では、合成ゴムも定義に含まれます。
- ▼ **2023年プラスチック情報開示の焦点**：CDPは、プラスチックを使用、生産、商品化するすべての企業に対し、プラスチック廃棄物の管理、再処理、廃棄を含むバリューチェーン全体を対象とした情報を求めています。プラスチック廃棄物の管理、再処理、廃棄を唯一の事業とする企業に特化した情報は求めません。
- ▼ **CDPが定量的な指標を要求するプラスチック活動**：プラスチックポリマーの製造、耐久性プラスチック部材の製造、耐久性プラスチック製品（混合素材を含む）の製造・商品化、プラスチック包装の製造・商品、プラスチックで包装された商品の生産、プラスチック包装を利用したサービス・商品の提供・商品化（例：小売、飲食）

プラスチック情報開示：用語の定義



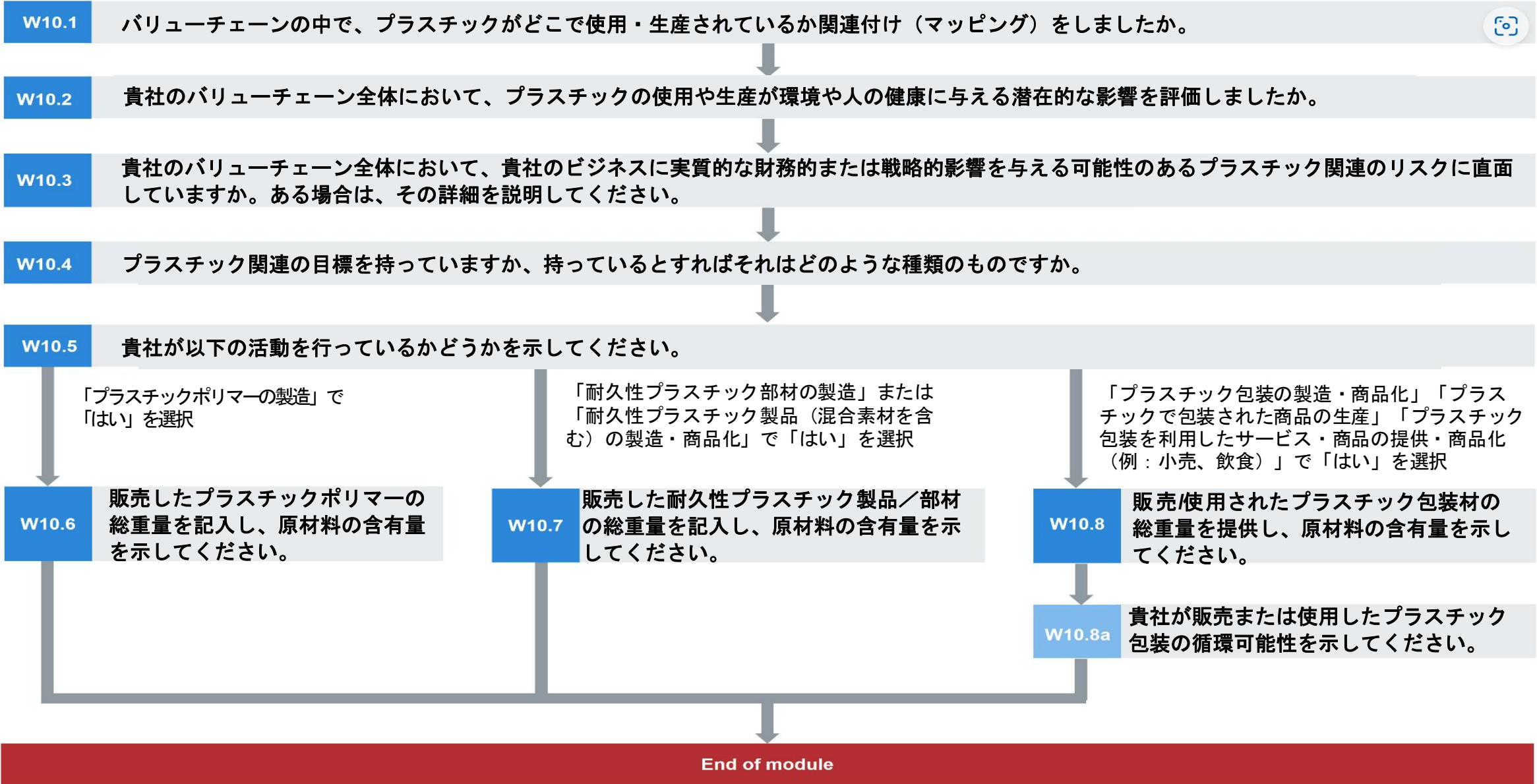
- ▼ **混合材料について**：次に関するデータを提供するように求められています。1) 重量比50%以上のプラスチックで構成される商品または包装。2) 1) に該当する商品または包装に含まれるプラスチックの割合の重量。
- ▼ **プラスチック包装**：エレン・マッカーサー財団の「グローバル・コミットメント」に沿う形で、プラスチック包装に関する指標を要求しています。商品に添付されるカトラリー類も含みます。プラスチックの特定のカテゴリーとして、使い捨てプラスチック(single-use plastic)に関する指標は要求しません。
- ▼ **プラスチックの原料**：バージン材と再生材のどちらも、化石資源由来とバイオマス資源由来のものがあります。
- ▼ **「技術的リサイクル可能性」と「現実的リサイクル可能」の違い**：「技術的リサイクル性」は、プラスチックを含む製品をリサイクルする技術的な適用性を反映したものであり、プラスチック包装の回収、分別、リサイクルが現実には、実際の規模で合理的に行われるものかは考慮されません。

W10プラスチック

2023年モジュール
W0 導入
W1 現状
W2 ビジネスへの影響
W3 手順
W4 リスクと機会
W5 施設レベルでの水の検証
W6 ガバナンス
W7 事業戦略
W8 目標
W9 検証
W10 プラスチック
W11 サインオフ
SW サプライチェーン



W10プラスチック マッピング・潜在的影響・事業に対するリスク・目標・活動・プラスチックポリマーの生産に関して使用する指標・耐久財/部品に関する指標・プラスチック包装材に関する指標



W10.1 - 関連付け



(W10.1) バリューチェーンの中で、プラスチックがどこで使用・生産されているか関連付け（マッピング）をしましたか。

- ▼ バリューチェーンにおけるプラスチックの関連付け（マッピング）は、プラスチックがどのように生産、使用、廃棄されるかについて、企業が認識を深めるための最初の段階です。これにより、プラスチックが環境や社会に与える影響、プラスチック関連のビジネスリスク、そしてプラスチック汚染を減らす方法を理解することができます。
- ▼ プラスチックの関連付けに関する情報は、プラスチックの影響、リスク、目標、その他の指標について報告された情報の正確性と徹底性に関して、データ利用者に信頼感を与えます。
- ▼ 企業への期待：バリューチェーン全体で、収益におけるプラスチックの役割を関連付けすること。

1	2	3
プラスチックのマッピング	バリューチェーンの段階*	説明してください
選択肢: • はい • マッピングしたことはありませんが、今後2年以内に行う予定です • マッピングしたことはなく、今後2年以内に行う予定もありません	該当するものをすべて選択: • 直接操業 • サプライチェーン • 製品使用段階 • その他、具体的にお答えください	文章入力欄[最大2,000文字]

*本列は、1列目で「はい」を選択した場合のみ表示されます。

W10.2 - 潜在的な環境・人体への影響



(W10.2) 貴社のバリューチェーン全体において、プラスチックの使用や生産が環境や人の健康に与える潜在的な影響を評価しましたか。

- ▶ プラスチックに関連する影響と、それがバリューチェーンのどの段階で発生しているかを認識している企業は、環境や人間の健康への影響を削減あるいは排除するための体制を整備しています。
- ▶ 設問に回答することで、CDPのデータ利用者は、企業がプラスチック関連の影響に対して行動を起こしているかどうかを理解できます。

1	2	3
影響評価	バリューチェーンの段階*	説明してください
選択肢: • はい • 評価したことはありませんが、今後2年以内に行う予定です • 評価したことはなく、今後2年以内に行う予定もありません	該当するものをすべて選択: • 直接操業 • サプライチェーン • 製品使用段階 • その他、具体的にお答えください	文章入力欄[最大2,000文字]

*本列は、1列目で「はい」を選択した場合のみ表示されます。

W10.3 - 事業に対するリスク

(W10.3) 貴社のバリューチェーン全体において、貴社のビジネスに実質的な財務的または戦略的影響を与える可能性のあるプラスチック関連のリスクに直面していますか。ある場合は、その詳細を説明してください。

- ▶ プラスチック関連のリスクにさらされ、それがバリューチェーンのどこで発生しているかを認識することは、リスクを管理し、循環型経済で成功するための最初のステップとなります。
- ▶ データ利用者は、企業がバリューチェーン全体で実質的なプラスチック関連のリスクを認識しているかどうかの情報を求めています。
- ▶ 企業への期待：企業がプラスチック関連のリスクを評価し、管理すること。

1	2	3	4
リスクエクスポージャー	バリューチェーンの段階*	リスクの種類*	説明してください
選択肢: • はい • 評価したことはありませんが、今後2年以内に行う予定です • 評価したことはなく、今後2年以内に行う予定もありません	該当するものをすべて選択: • 直接操業 • サプライチェーン • 製品使用段階 • その他、具体的にお答えください	該当するものをすべて選択: • 規制 • 評判 • 技術 • 物理的要因 • その他、具体的にお答えください	文章入力欄[最大2,000文字]

*2、3列目は、1列目で「はい」を選択した場合のみ表示。

W10.4 - 目標

(W10.4) プラスチック関連の目標を持っていますか、持っているとしたらそれはどのような種類のものですか。

- この質問により、企業はCDPデータ利用者に対してどのような目標を設定しているかを示し、プラスチック中の化石由来成分の削減・廃止、問題のある、または不要なプラスチックの排除、循環性の向上への取り組みを示すことができます。
- 企業への期待：達成期限付きで測定可能なプラスチック関連の目標を設定し、それに向けて行動を起こすこと。

1	2	3	4
定量的目標があるか	定量目標の種類*	定量目標指標*	説明してください
選択肢: - はい - いいえ、しかし今後2年以内に導入する予定です - いいえ、そして今後2年以内に導入する予定もありません	該当するものをすべて選択: - プラスチックポリマー - プラスチックパッケージ - プラスチック製品 - マイクロプラスチック - 廃棄物管理 - その他	該当するものをすべて選択: プラスチックポリマー - プラスチックポリマーに含まれるバージンプラスチックの総重量の削減 - プラスチックポリマーに含まれるポストコンシューマーリサイクル材料の割合の増加 - プラスチックポリマーに含まれる責任ある管理を行う調達先からの再生可能プラスチックの割合の増加 - プラスチック添加剤の使用量の削減 - その他、具体的にお答えください	文章入力欄[最大2,000文字]

※本表示は表の一部です

*2、3列目は、1列目で「はい」を選択した場合のみ表示。

3列目の選択肢は、2列目で選択された内容に基づいて表示。

W10.5 - アクティビティ

(W10.5) 貴社が以下の活動を行っているかどうかを示してください。

- ▶ プラスチックの生産、商業化、使用に関連するさまざまな活動には、それぞれ異なる影響、リスク、機会があります。
- ▶ この質問により、CDPデータの利用者は、このモジュールで提供する情報を体系的に理解することができます。

	0	1	2
	事業活動	活動の適用	コメント
「はい」により、 W10.6の質問	プラスチックポリマーの生産	選択肢: • はい • いいえ	文章記入欄[最大1,000文字]
「はい」により、 W10.7の質問	耐久性のあるプラスチック部品の生産		
	耐久性のあるプラスチック製品の生産/商品化(混合材料を含む)		
「はい」により、 W10.8とW10.8aの 質問	プラスチックパッケージの生産/商品化		
	プラスチックパッケージを使用する製品の生産		
	プラスチックパッケージを使用するサービスや製品の提供/商品化(例：小売や食品サービス)		

W10.6 - 指標 (プラスチックポリマーの製造)



(W10.6) 販売したプラスチックポリマーの総重量を記入し、原材料の含有量を示してください。

*3,4,5,6列の表示は、2列目で選択した内容によって異なります。

▼ プラスチックポリマーの製造に使用される原材料の種類と量を測定することで、企業はその影響を把握し、プラスチックの循環利用を高めることができます。

▼ 企業への期待：プラスチックポリマーの製造に使用する原材料を監視し、化石由来の原材料の使用をなくすよう努めること。

1	2	3	4
報告年に販売したプラスチックポリマーの総重量(メートルトン)	報告可能な各原料の内訳(%)	含まれるバージンの化石燃料ベースの割合*	含まれるバージンの再生材料の割合*
数値記入欄[最大小数点第2位を用いて、0～999,999,999,999の数字を入力]	該当するものをすべて選択: - 含まれるバージンの化石燃料ベースの割合 - 含まれるバージンの再生材料ベースの割合 - 含まれるポストインダストリアルリサイクル材料の割合 - 含まれるポストコンシューマーリサイクル材料の割合 - なし	パーセンテージ記入欄[最大小数点第2位を用いて、0～100の数字を入力]	パーセンテージ記入欄[最大小数点第2位を用いて、0～100の数字を入力]

5	6	7
含まれるポストインダストリアルリサイクル材料の割合*	含まれるポストコンシューマーリサイクル材料の割合*	説明してください

W10.7 - 指標 (耐久財)

(W10.7) 販売した耐久性プラスチック製品／部材の総重量を記入し、原材料の含有量を示してください。

*3,4,5,6列の表示は、2列目で選択した内容によって異なります。

▼ プラスチック製の耐久消費財／部材品の量と内容を測定することで、企業はその影響を把握し、削減することができます。

▼ 企業への期待：販売するプラスチック製耐久財／部材の重量を測定し、化石由来の原材料の使用をなくすよう努力すること。

1	2	3	4
報告年に販売した耐久性のあるプラスチック製品/部品の総重量(メートルトン)	報告可能な各原料の内訳(%)	含まれるバージンの化石燃料ベースの割合*	含まれるバージンの再生エネルギー材料の割合*
数値記入欄[最大小数点第2位を用いて、0～999,999,999,999の数字を入力]	該当するものをすべて選択: - 含まれるバージンの化石燃料ベースの割合 - 含まれるバージンの再生エネルギー材料の割合 - 含まれるポストインダストリアルリサイクル材料の割合 - 含まれるポストコンシューマーリサイクル材料の割合 - なし	パーセンテージ記入欄[最大小数点第2位を用いて、0～100の数字を入力]	パーセンテージ記入欄[最大小数点第2位を用いて、0～100の数字を入力]

5	6	7
含まれるポストインダストリアルリサイクル材料の割合*	含まれるポストコンシューマーリサイクル材料の割合*	説明してください

W10.8 - 指標 (包装材)

(W10.8) 販売/使用されたプラスチック包装材の総重量を提供し、原材料の含有量を示してください。

*3,4,5,6列の表示は、2列目で選択した内容によって異なります。

- ▶ プラスチック包装の量と内容をモニタリングすることで、企業はその影響と、化石由来の原材料の使用を削減する可能性を理解することができます。
- ▶ 企業への期待：販売するプラスチックの重量を測定し、化石由来の原材料の使用をなくすよう努力すること。

0	1	2	3
	報告年に販売/使用したプラスチックパッケージの総重量(メートルトン)	報告可能な各原料の内訳(%)	含まれるバージンの化石燃料ベースの割合*
販売したプラスチックパッケージ*	数値記入欄[最大小数点第2位を用いて、0~999,999,999,999の数字を入力]	該当するものをすべて選択: - 含まれるバージンの化石燃料ベースの割合 - 含まれるバージンの再エネルギーベースの割合 - 含まれるポストインダストリアルリサイクル材料の割合 - 含まれるポストコンシューマーリサイクル材料の割合 - なし	パーセンテージ記入欄[最大小数点第2位を用いて、0~100の数字を入力]
使用したプラスチックパッケージ*			
4	5	6	7
含まれるバージンの再エネルギー材料の割合*	含まれるポストインダストリアルリサイクル材料の割合*	含まれるポストコンシューマーリサイクル材料の割合*	説明してください

W10.8a - 指標 (包装材)

(W10.8a) 貴社が販売または使用したプラスチック包装の循環可能性を示してください。

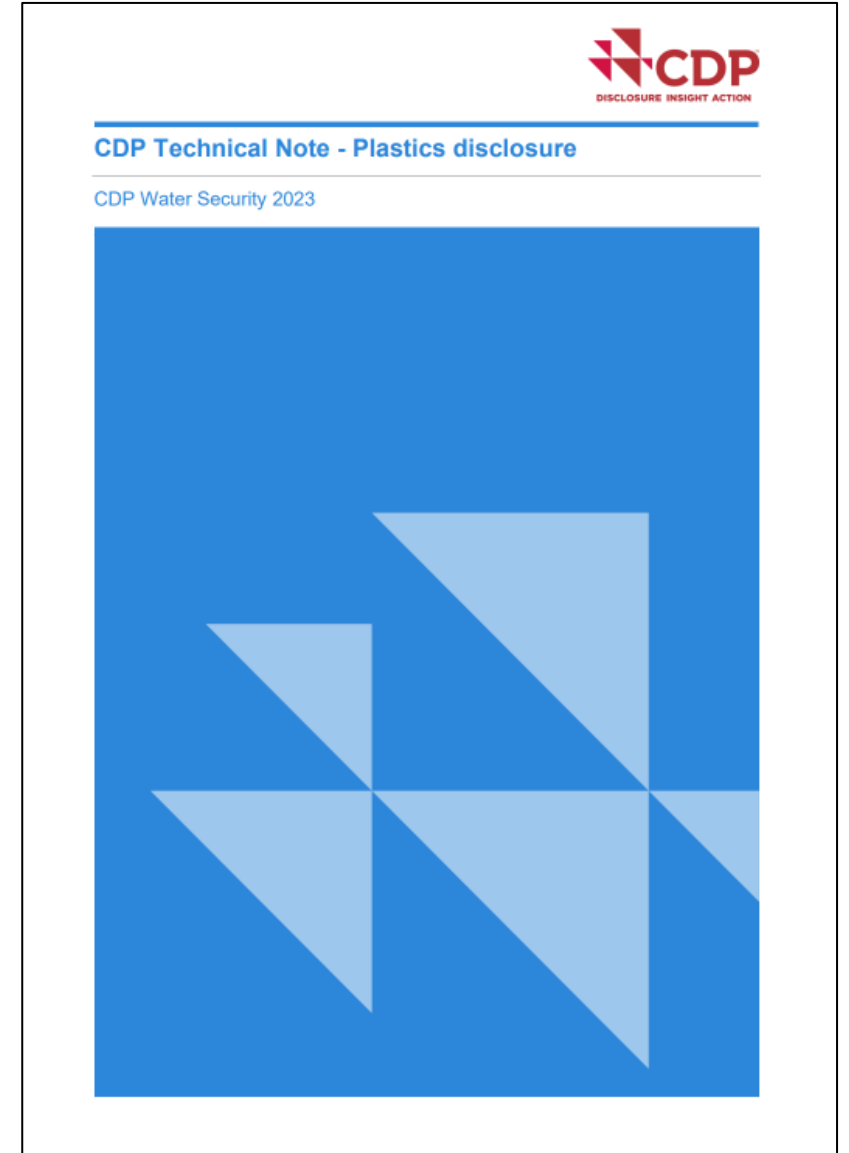
*2、3、4列の表示は、1列目の選択内容によって異なります。

- ▼ プラスチック包装の再利用性とリサイクル性を把握している企業は、循環利用が可能な包装の割合を増やし、プラスチック汚染の危機に取り組む姿勢を示しています。
- ▼ 企業への期待：使用/販売するプラスチック包装の潜在的な循環性を最大化すること。

0	1	2
	循環性として報告可能な割合	再利用可能なプラスチックパッケージの割合*
販売したプラスチックパッケージ*	該当するものをすべて選択: ● 再利用可能な割合 ● 技術的にリサイクル可能な割合 ● 規模に応じた、かつ実際にリサイクル可能な割合 ● なし	パーセンテージ記入欄[最大小数点第2位を用いて、0～100の数字を入力]
使用したプラスチックパッケージ*		
3	4	5
技術的にリサイクル可能なプラスチックパッケージの割合*	実際かつ大規模にリサイクル可能なプラスチックパッケージの割合*	説明してください

プラスチック情報開示に関するテクニカルノート

- ▼ プラスチック情報開示に関するよくあるQ&Aや、エレン・マッカーサー財団の「グローバル・コミットメント」との整合性についての説明等をご覧ください。
- ▼ 詳細は下記をご参照ください。
“CDP Technical Note – Plastic disclosure” on [the guidance page of CDP website](#).



モジュール11：承認

W11 承認

W-FI

この欄に、貴社の回答に関連すると考えられる追加情報や背景事情を記入してください。この欄は任意で、採点されないことにご注意ください。



W11.1

貴社のCDP水セキュリティ質問書に関する回答を最終承認した人物を具体的にお答えください。



End of module

Water Action Hubとのデータ連携



▼ 回答を公開している場合、UN Water Action Hubにデータが連携されます。希望しない場合は、ORSでの回答提出の際に共有しないこともお選びいただけます。データを共有いただくことで、他企業団体が水関連プロジェクトを実施する際に参考となります。

▼ Hub上での主な共有事項：

- ・ 共同プロジェクト／イニシアティブに関与している他の人物（組織名や官庁名など）、または協働を希望する人物（政府機関、他の企業、NGOなど）
- ・ プロジェクトの地理的またはその他の規模
- ・ 企業を超えて流域に期待される利益など、プロジェクトが達成しようとしていること
- ・ プロジェクトがいつ開始され、終了したのか、継続中なのか
- ・ 可能であれば、プロジェクトの具体的な場所

▼ 同意する場合の共有対象設問番号：W2.1a、W4.2、W4.2a

UN Water Action Hubとは

CEO Water Mandateが開発した、水の持続可能性と気候レジリエンスのためのグローバルなオンライン・コラボレーションおよび知識共有プラットフォームです。ハブの目的は、世界中のウォーター・スチュワードシップと気候変動回復力プロジェクトの膨大なネットワークをカタログ化し、認知度を高めることです。行動を喚起し、ベストプラクティスや革新的なアイデアを共有し、世界の持続可能性に関する多くの課題に取り組むさまざまな組織間の協力を促進します。

サプライチェーンモジュールに回答するSW2.1のようなコラボレーション実施の可能性のあるプロジェクト提案などの参考としても利用いただけます。



Connect to water stewardship tools & opportunities around the world.

For Businesses



For Everyone



SW - サプライチェーン モジュール

SW - サプライチェーン



セクター別質問

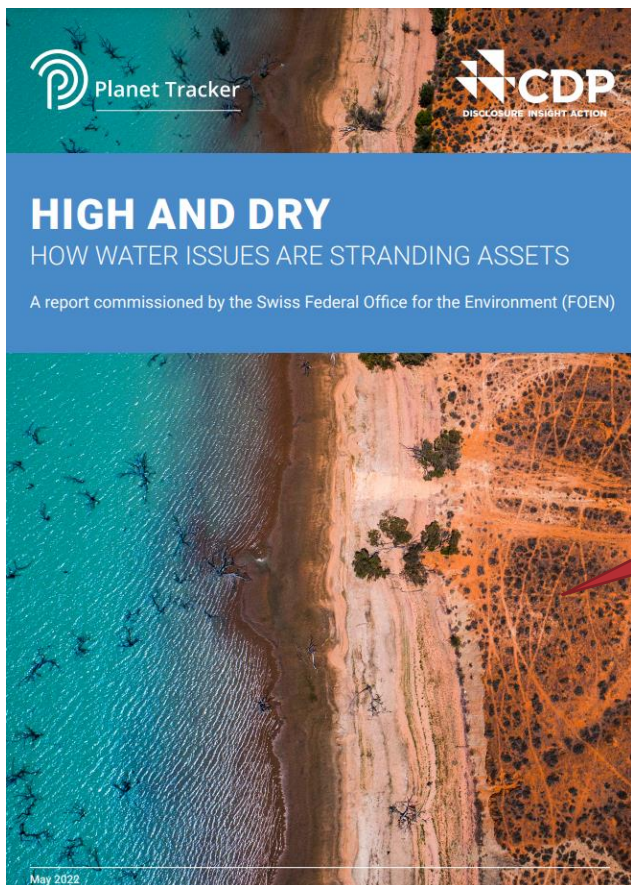
CDP水セキュリティ質問書:セクター



	セクター
エネルギー	電力事業(EU) 石油・天然ガス(OG)
輸送	—
素材	化学(CH) 金属・鉱業(MM) 石炭(CO)
金融	—
農業	農作物(AC) 食品・飲料・タバコ(FB)
一般	セクター別質問書に 該当しない全ての企業

- ▼ 水への影響が大きいセクターの企業にはセクター別の設問が表示されます。
- ▼ 回答企業には、CDPの活動分類システム(CDP-ACS)に基づいてセクターが割り振られています。
- ▼ セクターを選択する際には、貴社に割り振られたセクターを含めてください。
- ▼ 回答するセクターによって回答する設問が異なるため、設問が貴社に当てはまらない場合には、質問番号が連続しない場合があります。

直近の水セキュリティ関連レポート



石炭、電力事業、金属・鉱業、石油・ガス
セクターにおける水リ
スクに関連した座礁
資産化に関するレ
ポート

日本語訳は[こちら](#)



ESG情報としての水
関連情報開示規制に
関するレポート

(英語のみ)

参考情報・資料

変更点 水セキュリティ質問書2023

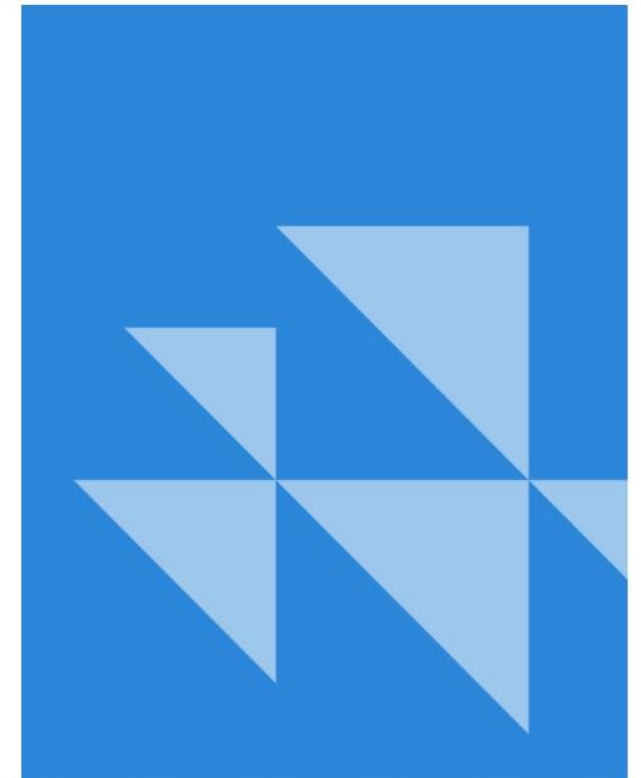


- ▼ 質問書変更点の全体について記載されている詳細なリストについては下記をご参照ください。
“*CDP Question Changes and Map: 2022 to 2023*” published on [the guidance page of CDP website](#).
- ▼ 主な変更点の概要 - モジュールごと
- ▼ 日本語版の変更点概要は[こちら](#)



CDP Scoring Methodology Changes: 2022 to 2023

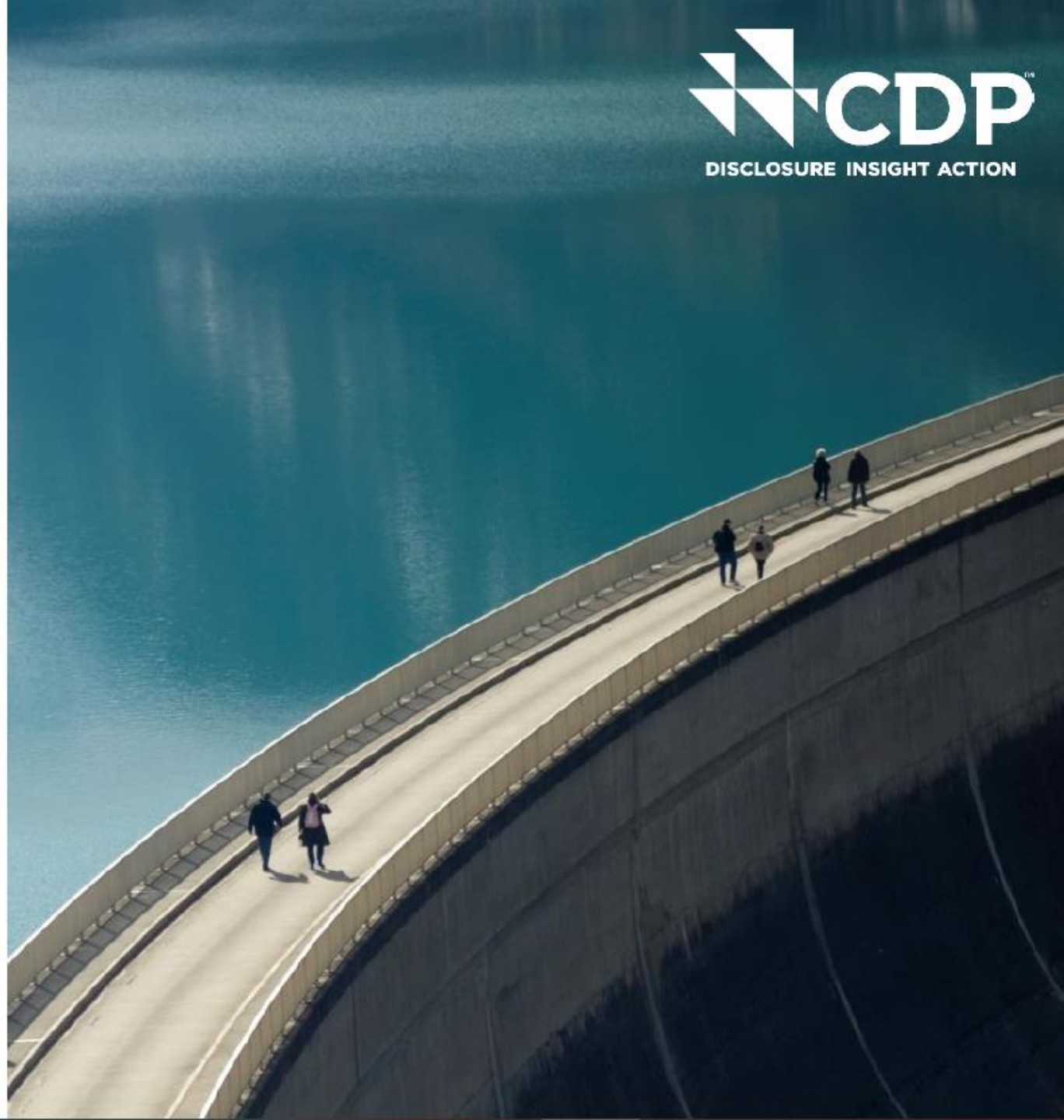
CDP Water Security 2023



民間企業の気候変動適応ガイド

— 気候リスクに備え、勝ち残るために —

- 環境省作成
- CDPウォーター質問書の回答データを分析
- https://adaptation-platform.nies.go.jp/private_sector/guide/index.html



CDPが提供している主な資料(リンク集)



- ▼ よくあるご質問(FAQ)
- ▼ 回答ダッシュボード使用方法(アカウントの作成など)
- ▼ オンライン回答システム使用方法
- ▼ スコアリングイントロダクション
- ▼ 気候変動・水セキュリティ・フォレスト質問書
- ▼ 各質問書に関するガイダンス資料・スコアリング基準
- ▼ 各質問書に関するウェビナー(動画・資料)
- ▼ 各質問書の前年からの変更点
- ▼ 公開されている他社回答へのアクセス
- ▼ 日本語版気候変動・水セキュリティ・フォレスト報告書
- ▼ CDPジャパンが開催するセミナー情報(過去の録画・資料含む)

CDPニュースレターのご案内



CDPジャパンでは、ニュースレターの配信を行っております。ウェビナーやシンポジウム、レポートに関する最新の情報を提供しておりますので、ぜひご登録ください。

ご登録フォーム



創刊のご挨拶

平素よりCDPの活動にご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、CDPでは、本年度より日本のステークホルダーの皆様に向けて、ニュースレターを配信することになりました。私どものエンゲージメント活動やレポートの発刊、イベント情報などをお届けして参ります。ご活用いただけましたら幸いです。



今月11日から13日にかけて英国のコーンウォールのカービスベイで開催されたG7首脳会議では、気候変動対策が大いに議論されました。会議後に公表された共同声明では、2050年までのネットゼロの達成およびそれに沿う2030年目標へのコミットメントが謳われ、産業界のRace to Zeroキャンペーンへの参加や科学に基づく目標を通じた気候変動対策が歓迎され、奨励されました。

また、それに先立って開催されたG7財務大臣会議では、TCFDの枠組みに基づく開示の義務化に向けて支持が表明され、インパクト報告の重要性への認識も示されました。



金融を介した脱炭素化の取り組みが勢いを増しています。今月上旬にイタリアのベニスで開催されたG20財務大臣・中央銀行総裁会議では、気候変動が金融安定にもたらすリスクがあらためて認識され、気候関連財務リスクに対処し、サステナブル・ファイナンスを動員するための環境整備の必要性が確認されました。これを受けて、翌週の日本銀行政策決定会合では、金融機関に気候変動対応の投融資を促す新制度の骨子が示されました。また、民間サイドでも、今月、新たに41の資産運用会社が脱炭素化を支援する国際金融イニシアティブに加わるなどの動きを見せています。



CDP Worldwide-Japan

Address:東京都千代田区大手町2-2-1新大手町ビル3階



<https://japan.cdp.net/> (日本リージョナルサイト)



問い合わせはヘルプセンターをご確認後、同ページ内フォームより行ってください:
<https://help.cdp.net/ja-JP/>